

平成25年度

**那須烏山市教育委員会
点検・評価報告書**

**平成26年12月
那須烏山市教育委員会**

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっている。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条の規定に基づき、平成 24 年度の教育委員会の点検及び評価をまとめ、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものである。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

那須烏山市教育委員会委員名簿

（平成 26 年 11 月 30 日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	滝 口 由美子
委員長職務代理	澤 村 豊 純
委 員	岡 崎 孝 雄
委 員	阿久津 昌 子
委員（教育長）	池 澤 進

（敬称略）

－ 目 次 －

第1章 教育委員会の点検・評価

1. はじめに	1 頁
2. 教育委員会議の開催状況	1 頁
3. 教育委員会議での審議状況	1 頁
4. 教育委員会の活動状況	7 頁
5. 主な事業の取組状況	16 頁
(1) 学校教育（学ぶ機会の確保）	16 頁
(2) 学校教育（教育環境の整備）	22 頁
(3) 学校教育（教職員の指導力の向上）	28 頁
(4) 学校教育（25年度各学校の教育活動の評価）	32 頁
(5) 生涯学習（生涯学習）	34 頁
(6) 生涯学習（図書館）	40 頁
(7) 生涯学習（スポーツ振興）	44 頁
(8) 文化振興（芸術・文化）	54 頁

第2章 事務点検・評価会議のまとめ	61 頁
-------------------	------

第1章 教育委員会の点検・評価

1. はじめに

本市教育委員会においては、「那須烏山市総合計画基本構想・基本計画」に定める「人と文化を育むふれあいのまちづくり」を基本理念として、新たに「那須烏山市教育振興ビジョン」を策定し、那須烏山市の教育振興のために様々な施策を展開してきた。

また、全国的に教育委員会の在り方が問われる中、本市教育委員会においては、毎月の教育委員会議、及び各種会議や各種イベント参加を心がけ事務局と連携しながら真剣な議論によって施策を推進してきた。さらに、会議のみならず、現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や関係施設訪問、他市町との意見交換会・視察等を行うなど、活発な活動を通じて教育行政の推進に努めてきた。

本報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づくものであり、平成25年度の教育委員会活動を振り返るとともに、教育委員会として重点となる主な事業について点検・評価し、さらに、本年度の活動状況を加えたものを報告書として、事務点検・評価会議に諮り、学識経験者の意見をもとにまとめたものである。

2. 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回開催し、平成25年は合計で11回開催した。
<教育委員会議は暦年（1月～12月）>

3. 教育委員会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「那須烏山市教育委員会事務委任規則（平成23年10月25日改正）」第2条第1項及び同条第2項の規定に基づき、平成25年は11回合計で46件、平成26年1月から3月までは4回合計で21件について審議した。

<第2条第1項>

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること（2件）
- (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること（3件）
- (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること（0件）
- (4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること（10件）
- (5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること（1件）
- (6) 歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案に対する市長への意見の申出に関すること（5件）
- (7) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針の決定に関すること（0件）
- (8) 1件1,000万円を超える教育財産の取得の申出に関すること（0件）

- (9) 1件 1,000万円以上の工事の計画の策定に関する事 (0件)
- (10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更に関する事 (18件)
- (11) 教科用図書の採択に関する事 (1件)
- (12) 教育委員会の所管に属する公の施設に係る指定管理者の指定等に関する事 (0件)

<第2条第2項>

教育長は、前項の規定にかかわらず、委任された事務について、重要かつ異例の事態が生じたときは、これを教育委員会の決定にかからしめることができる (6件)

教育委員会審議案件等一覧

(1) 平成25年<暦年1月~12月> 教育委員会議 審議案件 (11回開催 46案件)

(分類は、前記「3. 教育委員会議での審議状況」の番号と対応している。)

案 件

議・報	件 名	提出日	分類
報 1	就学指定校の変更について	1月22日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	要保護及び準要保護児童生徒の認定について	〃	2-2
報 1	就学指定校の変更について	2月21日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	区域外就学の許可について	〃	(10)
議 1	平成24年度那須烏山市教育費予算の補正について	〃	(6)
議 2	平成25年度那須烏山市教育費予算について	〃	(6)
議 1	平成25年度小・中学校職員定期異動方針について	3月4日	(4)
議 2	那須烏山市生涯学習推進計画〔第二期計画〕(案)について	〃	(1)
議 3	那須烏山市子ども読書活動推進計画〔第二期計画〕(案)について	〃	(1)
報 1	就学指定校の変更について	3月21日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	那須烏山市教育委員会関係職員の人事異動内示について	〃	(4)
報 4	那須烏山市学校再編整備に関する答申書について	〃	(10)
議 1	平成25年度小・中学校職員定期異動について	〃	(4)
議 2	那須烏山市社会教育指導員の任命について	〃	(4)
報 1	平成25年度那須烏山市奨学生の決定について	4月23日	2-2
報 2	平成25年度那須烏山市立小中学校主任等の承認について	〃	(4)
報 3	平成25年度那須烏山市立小中学校評議員の委嘱について	〃	(4)
報 4	平成25年度市費非常勤講師等の配置について	〃	(4)

議・報	件名	提出日	分類
報 5	那須烏山市烏山地区公民館管理人の委嘱について	〃	(4)
報 6	那須烏山市教育委員会事務局等組織及び処務規則の一部改正について	〃	(2)
報 7	那須烏山市立小中学校管理規則の一部改正について	〃	(2)
報 8	那須烏山市立学校施設利用及び使用料条例施行規則の一部改正について	〃	(2)
報 9	区域外就学の許可について	〃	(10)
報10	就学指定校の変更について	〃	(10)
報11	中学生海外派遣団員の決定について	〃	2-2
議 1	平成25年度那須烏山市教育費予算の補正について	5月14日	(6)
報 1	那須烏山市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について	7月18日	(4)
報 2	就学指定校の変更について	〃	(10)
議 1	平成26年度使用小学校用及び中学校用並びに小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について	〃	(11)
報 1	就学指定校の変更について	8月22日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	要保護及び準要保護児童生徒の認定について	〃	2-2
議 4	平成25年度那須烏山市教育費予算の補正について	〃	(6)
報 1	区域外就学の許可について	9月19日	(10)
議 1	就学指定校の変更について	〃	(10)
報 1	就学指定校の変更について	10月29日	(10)
報 2	要保護及び準要保護児童生徒の認定について	〃	2-2
議 1	平成26年度小・中学校職員定期異動方針(案)について	〃	(4)
議 2	全国学力・学習状況調査の取扱いについて	〃	2-2
議 3	就学指定校の変更について	〃	(10)
議 1	平成25年度那須烏山市教育費予算の補正について	12月2日	(6)
議 2	那須烏山市教育委員会事務点検・評価について	〃	(5)
議 3	就学指定校の変更について	〃	(10)

(2) 平成26年<暦年1月～3月> 教育委員会議 審議案件 (4回開催 21案件)
案 件

議・報	件 名	提出日	分類
報 1	就学指定校の変更について	1月21日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	要保護及び準要保護児童生徒の認定について	〃	2-2
報 1	就学指定校の変更について	2月18日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	区域外就学の許可について	〃	(10)
議 1	平成25度那須烏山市教育費予算の補正について	〃	(6)
議 2	平成26度那須烏山市教育費予算について	〃	(6)
議 3	那須烏山市社会教育委員設置条例の一部改正について	〃	(2)
報 1	那須烏山市図書館運営協議会委員の任命について	3月6日	(4)
議 1	平成26年度小・中学校職員定期異動方針について	〃	(4)
報 1	区域外就学の許可について	3月18日	(10)
報 2	区域外就学の許可について	〃	(10)
報 3	栃木県立烏山高等学校通学補助金交付要綱の制定について	〃	(2)
議 1	平成26年度小・中学校職員定期異動について	〃	(4)
議 2	那須烏山市教育委員会事務局等組織及び処務規則の一部改正について	〃	(2)
議 3	那須烏山市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について	〃	(2)
議 4	那須烏山市立小中学校管理規則の一部改正について	〃	(2)
議 5	那須烏山市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正について	〃	(2)
議 6	那須烏山市幼児専用バス管理規則の一部改正について	〃	(2)
議 7	那須烏山市文化財保護審議会委員の任命について	〃	(4)

(3) 平成25年度那須烏山市教育委員会名義後援承認状況 (31件)

番号	申請人	行事の名称	場所・日程
1	(株)烏山城カントリークラブ	お笑い芸人によるライブショー	H25. 5. 4 烏山城カントリークラブ
2	(株)烏山城カントリークラブ	ゴールデンウィーク子どもの日イベント	H25. 5. 5、6 烏山城カントリークラブ
3	栃木県スポーツ・レクリエーションフェスティバル 実行委員会	平成25年度栃木県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル	H25. 5. 19～26. 3. 2 県内各会場
4	ガールスカウト栃木県第14団	ガールスカウト体験集会	H25. 5. 26～7. 7 清水川公園他
5	栃木県人権研究集会実行委員会	第10回栃木県人権研究集会	H25. 6. 1 とちぎ健康の森
6	栃木県都市ガス協会	第7回ウイスクラス全国親子クッキング コンテスト栃木県大会	H25. 6. 19～9. 19 宇都宮短期大学付属高校
7	馬頭小川ロータークラブ	第13回ローター杯 南那須小学生ソフトボール大会	H25. 6. 29、30 小川緑化運動公園
8	那須烏山市野球連盟	第1回那須烏山市山あげカップ 軟式野球大会 (学童、一般)	H25. 6. 30～8. 4 緑地、大桶運動公園
9	カリナ・サークルあんだんて	カリナ・サークルあんだんて たなばたコンサート	H25. 7. 7 烏山公民館
10	栃特連言語難聴班県北部支部	栃特連言語難聴班県北部支部 合同宿泊学習	H25. 7. 26～27 なす高原自然の家
11	南那須地区剣道連盟	第34回南那須地区 少年剣道大会	H25. 8. 10 荒川中学校体育館
12	(株)烏山城カントリークラブ	烏山城まつり	H25. 8. 10 烏山城カントリークラブ
13	(株)烏山城カントリークラブ	烏山城ビートルゴルフシニア選手権	H25. 8. 17 烏山城カントリークラブ
14	(株)烏山城カントリークラブ	親子ペアゴルフ大会	H25. 8. 18 烏山城カントリークラブ
15	社会福祉法人 那須烏山市社会 福祉協議会	ボランティア入門・体験 (小学生向け)	H25. 9. 7 社会福祉協議会本所
16	那須南九条の会	映画「渡されたバトン さよなら 原発」上映会	H25. 9. 8 烏山公民館
17	学校法人 帝京大学	理工系進学体験イベント	H25. 9. 8 帝京大学宇都宮キャンパス

番号	申請人	行事の名称	場所・日程
18	栃木県立烏山高等学校	栃木県立烏山高等学校 吹奏楽部第4回定期演奏会	H25. 9. 28 小川総合福祉センター
19	九州産業大学工学部 住居・インテリア設計学科	東日本震災チャリティ・イベント 「九州発北欧展2013」	H25. 10. 13 かやぶき古民家大木邸
20	烏山語りの会	烏山語りの会第7回発表会	H25. 10. 19 烏章館
21	那須烏山市体育協会	第1回盲導犬育成チャリティゴルフ 大会	H25. 10. 23 風月カントリークラブ
22	なすから教育支援ネットワーク	春風亭昇々笑い納め落語会	H25. 11. 1～12. 22 コミュニティーひろばBonBon
23	栃木県小学校教育研究会 体育部会南那須支部	栃木県小学校教育研究会 体育研究大会南那須大会	H25. 11. 22 七合小学校
24	特定非営利活動法人 人権センターとちぎ	第15回栃木県ヒューマンライツセミナー	H25. 11. 28 パルティとちぎ 男女共同参画センター
25	那須南農業協同組合	第7回JA共済なす南カップミニサッカー 大会	H25. 11. 30 大桶運動公園
26	那須南農業協同組合	第2回JAなす南サッカー教室	H25. 12. 1 大桶運動公園
27	栃木県女性教育推進連絡協議会	栃木県女性教育推進連絡協議会 会県北地区研修会	H25. 12. 7 那須烏山市保健福祉センター
28	(財) 栃木県青年会館 ワカモノ・フェスタ実行委員	ワカモノ・フェスタ2013	H25. 12. 8 とちぎ青少年センター
29	南那須地区サッカー協会	南那須蹴育祭	H25. 12. 26 栃木県グリーンスタジアム
30	(株) 烏山城カントリークラブ	烏山城祭り	H26. 1. 5 烏山城カントリークラブ
31	特定非営利活動法人e-とちぎ	那須烏山市伝統芸能まつり	H26. 2. 9 市南那須公民館

4. 教育委員会の活動状況

教育委員（教育長）は、教育委員会議のほか、市議会への参加、学校訪問、教育関係各種行事について、平成25年（1月～12月暦年）は合計で364項目に出席した。

平成25年 教育委員会（教育長）活動実績一覧

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問	その他
1月	第1回 1/22	・市成人式 1/6 ・市駅伝競走大会 1/13	・要請訪問 (烏山中) 1/18	・仕事始式 1/4 ・年頭挨拶訪問 1/7 ・七合小体育館竣工式 1/8 ・地区教育長会議 1/8 ・市小中学校長会・研修会 1/9 ・市小中学校教育懇談会 1/9 ・地区教育長会議 1/11 ・地区教育長会議 1/16 ・関東地区都市教育長協議会 理事会 1/17 ・市議会全員協議会 1/18 ・市議会臨時会 1/21 ・地区教育長会議 1/21 ・地区教育長会議 1/25 ・B&G財団全国指導者総会 1/26 ・市立学校再編検討委員会 1/28 ・社会教育委員・公民館運営 審議会委員会議 1/28 ・地区教育長会議 1/29 ・南那須地区中高連絡会 1/30 ・人権問題協議会 1/30 ・和光市教育長来庁面談 1/30 ・B&G財団全国サミット 1/30
2月	第2回 2/21	・副市長辞令交付式 2/1 ・なすみなみ若鮎・地区 学生駅伝競走大会 2/24	・要請訪問 (烏山中) 2/4	・栃木県民の日実行委員会総会 2/4 ・市奨学生選考委員会 2/5 ・平野奨学金運営委員会 2/5 ・地区教育長会議 2/5 ・地区教育長会議 2/8 ・こども常盤津教室発表会 2/10 ・地区教育長会議 2/13 ・B&G財団全国教育長会議 2/14～15 ・市女性団体連絡協議会市政 懇談会 2/18 ・地区教育長会議 2/18 ・水の事故ゼロ運動推進協議会 幹事会 2/19 ・市小中校長会議 2/20

月	教育委員会	各種行事・大会	学校訪問	その他
2月				<ul style="list-style-type: none"> ・市小中学校教頭会研修会 2/21 ・南那須防犯パトロール隊総会 2/21 ・地区教育長会議 2/22 ・市立図書館協議会 2/22 ・サテライトスクール閉校式 2/23 ・地区教育長会議 2/25 ・市議会全員協議会 2/27 ・地元和牛食材提供事業 (学校給食試食会) 2/28 ・学校再編検討委員会 2/28
3月	第3回 3/4 第4回 3/21	<ul style="list-style-type: none"> ・献花式 3/11 ・東日本大震災那須烏山市復興の集い 3/11 ・いちご・パンまつり 3/16 ・震災から2年今後の災害ボランティアを考える集い 3/17 ・退職市職員辞令交付式 3/29 ・退職教職員辞令交付式 3/29 	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか表彰(荒川小・七合小・烏山小) 3/13 ・小学校卒業式 3/18 	<ul style="list-style-type: none"> ・馬頭高校卒業式 3/1 ・塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会 3/1 ・境地区市政懇談会 3/2 ・市小中学校長会議 3/4 ・3月定例市議会 3/5～15 ・教職員人事異動内々示 3/14 ・議会全員協議会 3/14 ・地区教育長会議 3/15 ・B&G体験コース 出発挨拶 3/18 ・英語コミュニケーション推進事業プレゼンテーション 3/18 ・教職員異動内示 3/22 ・南那須地区音楽祭実行委員会 3/25 ・ラントセルカハール贈呈式 3/26 ・社会教育委員・公民館運営審議会委員会議 3/26 ・全国大会出場者激励金授与式 3/26 ・中学生海外派遣団員研修会 3/28
4月	第5回 4/23	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会職員辞令交付式 4/1 ・学校関係職員辞令交付式 4/1 ・新中学生安全反射対贈呈式 4/2 ・非常勤教職員辞令交付式 4/9 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学式 4/8 ・小学校入学式 4/9 ・幼稚園入園式 4/11 	<ul style="list-style-type: none"> ・平野奨学金証・市奨学金証伝達式 4/2 ・地区教育長会議 4/3 ・市小中学校長会・研修・総会 4/3 ・B&G体験コース 修了挨拶 4/4 ・全国都市教育長協議会理事会 4/11 ・塩谷南那須地区小中学校長連絡会議 4/12 ・南那須小中学校長会総会 4/12 ・南那須地区戦没者追悼式 4/13 ・烏山地区戦没者追悼式 4/15

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問	その他
4月				<ul style="list-style-type: none"> ・南那須学校体育連盟総会 4/15 ・縣市町村教育長会議 4/16 ・市町村教育委員会教育長人権教育連絡会議 4/16 ・スクールスポーツリーグ委嘱状交付式 4/17 ・縣市町村教育委員会連合会市教育長部会総会 4/18 ・関東ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会 4/19 ・那須烏山報徳会総会 4/20 ・南那須学校給食研究会総会・研修会 4/22 ・那須烏山警察署長歓迎会 4/22 ・議会全員協議会 4/24 ・市婦人会総会 4/25 ・黒羽敏夫氏作品展示会祝賀会 4/27
5月	第6回 5/14	<ul style="list-style-type: none"> ・県春季体育大会予選南那須地区各種大会 5/17 ・護身術教室 5/20 ・南那須地区小学校陸上競技交流大会 5/25 	<ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問(荒川中) 5/16 ・要請訪問(七合小) 5/21 ・要請訪問(境小) 5/22 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編整備答申書を市長に提出 5/1 ・市小中学校PTA連絡協議会総会 5/2 ・市小中学校長会議 5/7 ・南那須保護区保護司会那須烏山分区総会 5/8 ・ねんりんピック栃木2014那須烏山市実行委員会設立総会 5/8 ・関東地区都市教育長協議会総会 5/9～10 ・八溝そば街道そばまつり 5/11 ・南那須地区中高連絡会 5/13 ・烏山山あげ保存会総会 5/13 ・行政区長・副行政区長会議 5/14 ・地区教育長会議 5/15 ・塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会 5/15 ・中学生海外派遣団結団式 5/16 ・市教職員協議会総会 5/17 ・月次加茂神社例大祭梵天奉納 5/19 ・中学生海外派遣団出発式 5/20 ・縣市町村教育委員会連合会会計監査 5/20 ・栃木県租税教育推進協議会総会 5/21

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問	その他
5月				<ul style="list-style-type: none"> ・サテースクール運営委員会 5/22 ・英語コミュニケーション推進委員会5/22 ・公民館講座合同開校式 5/23 ・南那須地区小中高PTA連絡会 総会 5/23 ・那須採択地区教科用図書採択 協議会 5/24 ・栃木県連合教育会総会・ 教育研究大会 5/24 ・県女性教育推進連絡協議会 那須烏山支部総会 5/27 ・市議会全員協議会 5/28 ・全国都市教育長協議会常任 理事会 5/29 ・全国都市教育長協議会 総会・研究大会 5/30～31
6月		<ul style="list-style-type: none"> ・夢の教室 6/13 ・県総体予選地区陸上 競技大会 6/15 ・山あげカップ[®]バスケットボール 大会 6/22 ・非常勤教職員辞令 交付式 6/26 ・山あげカップ[®]軟式野球 大会 6/30 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営訪問 (烏山小)6/3 ・要請訪問 (荒川中) 6/7 ・計画訪問 (塩谷中) 6/12 ・経営訪問 (下江川中)6/17 ・経営訪問 (江川小)6/18 ・経営訪問 (荒川小) 6/19 ・要請訪問 (荒川小)6/19 ・計画訪問 (七合小) 6/21 ・経営訪問 (烏山中) 6/25 ・要請訪問 (下江川中)6/26 ・要請訪問 (江川小) 6/25 	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室運営委員会 6/3 ・小中学校教頭会総会・研修会 6/3 ・6月定例市議会 6/4～10 ・[®]スチ子屋那須烏山教室 開所式 6/7 ・市小中学校長会議 6/13 ・市小中学校教務主任研修会 6/13 ・市歩こう会設立20周年記念 式典 6/15 ・市防犯協会・暴力追放協議会 総会 6/17 ・教育懇談会 6/17 ・学校保健・学校安全大臣表彰 被表彰候補者選考審査会 6/18 ・那須烏山市マラソン大会実行 委員会 6/18 ・水の事故[®]運動推進協議会 6/20 ・市議会全員協議会 6/21 ・おおぎすほたるの夕べコンサート 6/22 ・社会教育委員・公民館運営 審議会委員会議 6/24 ・市議会臨時会 6/24 ・栃木県原子力防災訓練 6/24 ・山あげ祭代表者会議 6/24 ・ふれあい人権フォーラム 6/25

月	教育委員会	各種行事・大会	学校訪問	その他
6月				<ul style="list-style-type: none"> ・市文化祭運営委員会 6/27 ・地区教育長会議 6/28 ・境地区自警団総会 6/28
7月	第7回 7/18	<ul style="list-style-type: none"> ・県総体予選地区各種大会 7/20 ・南那須地区育成会球技大会 7/27 ・和光市夏休み里山体験教室 7/27～28 ・小学生野球東京チーム大会 7/31 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問(高・中央小) 7/5 ・要請訪問(七合小) 7/17 ・要請訪問(境小) 7/22 ・要請訪問(烏山小) 7/24 	<ul style="list-style-type: none"> ・市小中学校長会議 7/3 ・全国都市教育長協議会理事会 7/4 ・「社会を明るくする運動」南那須地区推進大会 7/6 ・市消防団夏季点検 7/7 ・市立学校再編整備説明会 7/8 ・地区音楽祭実行委員会 7/9 ・市立学校再編整備説明会 7/10 ・那須採択地区教科用図書採択協議会 7/11 ・小中学校教頭会研修会 7/16 ・中学生海外派遣事業報告会 7/18 ・市議会全員協議会 7/22 ・広島平和記念式典派遣事業事前研修 7/22 ・全国・関東大会出場者激励金授与式 7/24 ・教育懇談会 7/26 ・和光市夏休み里山体験教室開校式 7/27 ・和光市現地歴史講座 7/27 ・和光市夏休み里山体験教室開校式 7/28 ・ABC/R運動推進協議会 7/29 ・教育懇談会 7/29 ・市町村教育委員会連合会県への要望活動 7/30
8月	第8回 8/22	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども議会 8/1 ・いかんべ祭 8/24～25 ・広島平和記念式典派遣事業 8/5～7 ・ABC/R運動講演会 8/26 ・特別支援講演会 8/26 		<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県小学校教育課程研究集会 8/1 ・教育懇談会 8/5 ・栃木県中学校教育課程研究集会 8/6 ・花いっぱい運動コンクール表彰式 8/7 ・教育講演会 8/9 ・行政区長会議 8/9 ・臨時小中学校長会議 8/11 ・「燈花 里の盆」盆踊り大会 8/15 ・横枕花火大会 8/17

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問	その他
8月				<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体支援事業 審査会 8/19 ・教育懇談会 8/22 ・英語コミュニケーション科推進事業 指導法研修 8/23 ・南那須地区教育懇談会役員会 8/26 ・議会全員協議会 8/27 ・広島平和記念式典派遣事業 事後研修 8/28 ・地区教育長協議会 8/29 ・山あげ祭反省検討会 8/29
9月	第9回 9/19	<ul style="list-style-type: none"> ・市民水泳大会 9/7 ・県新人予選南那須地区 陸上競技大会 9/19 ・県新人大会予選地区 各種大会 9/28 	<ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問 (荒川中)9/10 ・初任者援助訪問 (下江川中)9/13 ・初任者援助訪問 (烏山中) 9/17 ・初任者援助訪問 (江川小)9/24 ・初任者援助訪問 (烏山小)9/30 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動懇談会 9/2 ・9月定例市議会 9/3～18 ・敬老会(大木須地区) 9/8 ・映画会「渡されたバトン～さよ なら原発～」 9/8 ・栃木県女性教育推進連絡 協議会役員来庁 9/10 ・小中学校長会議 9/11 ・議会全員協議会 9/11 ・栃木県少年の主張発表南那須 地区大会 9/12 ・敬老会(熊田・滝) 9/15 ・市立学校再編整備保護者 説明会 9/17 ・市立学校再編整備保護者 説明会 9/19 ・B&G財団役員来庁 9/24 ・地区教育長会議 9/24 ・いかんべ祭決算報告・反省会 9/28 ・自治表彰者選考会 9/30 ・ABC/R運動推進協議会 9/30
10月	第10回 10/29	<ul style="list-style-type: none"> ・南那須地区音楽祭 10/1 ・非常勤教職員辞令 交付式 10/3 ・サタテースクール開校式 10/6 ・烏山地区市民運動会 10/13 ・南那須地区小学生陸上 競技大会 10/19 ・図書館まつり 10/20 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問 (喜連川中)10/2 ・計画訪問 (馬頭小)10/7 ・要請訪問 (七合小)10/9 ・要請訪問 (荒川中)10/16 ・要請訪問 (境小)10/30 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室推進事業 検討部会 10/1 ・烏山高等学校創立記念日 記念式典 10/4 ・市職員採用試験合格者判定 会議 10/4 ・烏山八景の句碑除幕式 10/5 ・OB教育長等懇談会 10/5 ・ねんりんピック栃木2014俳句 交流リハサル大会 10/6

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問	その他
10月		・南那須中学校駅伝競走大会 10/25		<ul style="list-style-type: none"> ・市職員採用試験第2次試験 合格者判定会議 10/7 ・市職員採用試験(特別選考) 10/8 ・市小中学校長会議 10/10 ・県教育委員会学校教育課 学力向上推進室長来庁 10/10 ・平成27年度版社会科副読本 編集委員会 10/11 ・市小中学校長・PTA連合会に よる要望書提出 10/11 ・県教職員協議会による要望書 提出 10/15 ・台風26号対策会議 10/15 ・地区教育長会議 10/17 ・県公私立高等学校協議会 10/17 ・塩谷南那須地区教育委員会 連合会定例会 10/18 ・南那須学校保健功労者受賞 祝賀会 10/18 ・烏山語りの会発表会 10/19 ・日枝神社例祭「ささら獅子舞」 演舞奉納 10/20 ・市体育協会ダンス部チャリティー ダンスパーティー発表会 10/20 ・文武両道教育推進検討委員会 会議 10/21 ・地域安全運動防犯ポスター・ 防犯マップ表彰式 10/21 ・塩谷南那須地区小中学校長 連絡会議 10/22 ・全国大会出場者激励金授与式 10/22 ・人事問題協議会 10/23 ・県市町村教育委員会連合会 市教育長部会総会 10/23 ・水の事故ゼロ運動推進協議会 幹事会 10/24 ・烏山小創立140周年記念式典 10/30
11月		<ul style="list-style-type: none"> ・市剣道祭 11/9 ・市文化祭 11/16 ・市育樹祭 11/19 ・市総合表彰式 11/23 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問 (つくし幼稚園) 11/1 ・要請訪問 (烏山中) 11/5 	<ul style="list-style-type: none"> ・和光市訪問(交流サッカー大会) 11/3 ・市小中学校長会議 11/6 ・県市町村教育委員会連合会 総会・研修会 11/6

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問	その他
11月			<ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問 (烏山小) 11/13 ・要請訪問 (荒川小) 11/15 ・へき地複式学 級訪問 (馬頭東小) 11/19 ・要請訪問 (荒川小) 11/20 ・学習指導法訪問 (烏山小) 11/21 ・計画訪問 (乙畑小) 11/27 ・要請訪問 (江川小) 11/28 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少中高一貫教育研究協議会 11/7 ・市議会全員協議会 11/7 ・とちぎ教育振興大会 11/9 ・市消防団通常点検 11/10 ・七合公民館祭 11/10 ・地元和牛食材提供事業 (学校給食試食会) 11/11 ・市放課後子ども教室推進事業 運営委員会 11/12 ・人事異動懇談会 11/13 ・人事異動懇談会 11/14 ・高齢者叙勲伝達 11/14 ・市議会全員協議会 11/15 ・叙勲祝賀会 11/16 ・そりはたふれあいまつり 11/17 ・中学校統合に係る意見交換会 11/17 ・南那須・栃小研へき地複式 教育研究会 11/19 ・市教職員協議会交渉 11/19 ・市議会臨時会 11/20 ・学習指導法研修会 11/21 ・小中学校教頭会研修会 11/21 ・栃小教研体育研究大会 南那須大会 11/22 ・那須烏山支部盆栽展 11/23 ・烏山小卒業30周年記念同窓会 式典・祝賀会 11/23 ・大木須新そばまつり 11/24 ・市教育委員会点検・評価会議 11/25 ・市議会全員協議会 11/26 ・B&G全国教育長会議 11/26～27 ・地区教育長会議 11/28 ・市小中学校長会議 11/29 ・炊き出し体験の集い 11/30
12月	第11回 12/2	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回那須烏山マラソン 大会 12/1 ・教育委員辞令交付 12/2 	<ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問 (下江川中) 12/2 ・すこやか表彰 (境小) 12/17 ・すこやか表彰 (江川小) 12/18 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなみなすタウンイルミネーション点灯式 12/1 ・12月定例市議会 12/3～11 ・栃木県女性教育推進連絡 協議会県北地区研修会 12/7 ・市議会全員協議会 12/11

月	教育委員会	各種行事・大会	学校訪問	その他
12月			<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか表彰 (七合小・烏山小) 12/19 ・すこやか表彰 (荒川小) 12/24 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動懇談会 12/11 ・人事異動懇談会 12/12 ・人事異動懇談会 12/13 ・生きがいの郷からすやま 「がんばるぞう」贈呈式12/13 ・人事異動懇談会 12/16 ・行政区長・副行政区長会議 12/17 ・市国際交流協会「メリークリスマス会」 12/18 ・地区教育長会議 12/26 ・中学生海外派遣事前研修会 12/26 ・仕事納式 12/27
合計	11回	47回	49回	257回

5. 主な事業の取組状況

本市教育委員会では、「個性と魅力ある教育文化を育むまちづくり一夢に向かってチャレンジする人づくり一」を目指し、施策の重点化を図りながら教育行政を推進してきたところである。今回の報告書においては、平成 25 年度における主な事業の実績及び評価・点検についてまとめた。

◎ 学校教育

(1) 学ぶ機会の確保

① 英語コミュニケーション推進事業

<平成 25 年度実績>

○学習指導要領等によらない特別の教育課程を編成して実施することができる「教育課程特例校」を文部科学省に申請し、英語コミュニケーション推進事業の一環として、市内全小学校の全学年において「英語コミュニケーション科」を設置し、特別の指導計画を作成して英語コミュニケーションの推進に努めてきた。本年度は、年間指導計画及び授業細案の見直しを行うとともに、コミュニケーション能力の素地づくりのための、指導法の研修を実施した。また、小中学校の円滑な連携を図るための研修も実施した。

○本市の子どもたちに広い視野と豊かなコミュニケーション能力を養うため、小中一貫した方針のもと、各学校に十分な指導が行えるよう、下記のとおり外国語指導助手（以下「ALT」という。）を配置し、教職員と協力して指導にあたるようにした。

- ・中学校（3校） 各学校に ALT 1 名ずつ派遣。烏山中と荒川中は単独で 1 名、下江川中は、にこにこ保育園とつくし幼稚園を合わせて 1 名派遣。
- ・小学校（5校） 江川小と荒川小で 1 名、烏山小単独で 1 名、境小と七合小とすくすく保育園と七合保育園を合わせて 1 名派遣。

※英語コミュニケーション推進事業実施状況

区分	人数	実施日	対象者	備 考
推進委員会	9 人	5/22	推進委員	英語コミュニケーション推進のための企画・立案 評価
学習指導研修	98 人	8/29 9/23 11/21	地区内小 中学校教 職員 ALT	研修「コミュニケーションの素地づくりを行うために」「インプットとインタラクション」「小中連携～素地から基礎へ」 講話・指導助言 講師 宇都宮大学教授 渡辺 浩行氏 講師 (株) ジョイトーク代表取締役 土谷 尋人氏
カリキュラム委員会	11 人	6/24、9/26、 10/25、11/19、 2/20	地区内小 中学校教 職員	年間指導計画、指導細案、言語活動、評価 規準、所見案等の見直しや作成
ALT 研修会	8 人	毎週水曜日	ALT	学校生活や指導に関する課題を出し合い、 改善を図る。

<点検及び評価>

○身近な英語に親しみながらコミュニケーションを図る楽しさに気づき、英語を通して外国の言語や文化、自国や郷土の文化に興味をもてる子ども達を育成するために、以下に示す3点を重視した授業展開を構想し、教員の指導力を向上させるための研修会を計画的、継続的に実施した。研修においては、MERRIER アプローチ理論^{※1}によるインプットとインタラクションを重視した授業を展開するための具体的な指導法の研修を実施した。ALT とのチーム・ティーチングの充実や教材の工夫など英語コミュニケーション科の授業が定着してきたことにより、児童生徒の資質・能力面で聞く力の向上がみられるとともに、主体的な活動が顕著に見られるようになった。また、教師がねらいを明確にした授業を展開できるようになり、児童の見取りを評価規準に照らしながら適切に行えるようになった。

・第1点目として、聞く活動（インプット）中心の授業展開を重視する。・・・英語の音声やリズムに慣れ親しませるため、外国語指導助手の英語に多く触れさせる。また、そのことを通して日本語との違い、言葉の豊かさやおもしろさに気づかせる。

・第2点目として、進んで相手の話を聞いたり、自分の気持ちや考えを伝えたりするやりとり（インタラクション）を中核に据えた授業展開を重視する。・・・日本語や英語を聞いたり、話したりする活動（体験）では、身近な場面を設定し、コミュニケーション活動の楽しさを実感（体験）できるようにする。

・第3点目として、情報の授受、伝達活動にとどまらず、体験的な理解を大切にした授業展開を重視する。・・・日本と外国の生活、習慣、行事などの違いに触れさせ、多様なものの見方や考え方に興味・関心をもてるようにする。

○小学校英語コミュニケーション科担当教師と中学校英語科教師の合同によるカリキュラム委員会を開催し、年間指導計画及び指導細案について、情報交換、意見交換を実施したり、模擬授業研修を実施したことにより、小学校英語コミュニケーション科の授業を活かした中学校英語科授業が少しずつ展開されるようになった。

○ALT の資質や指導法、教材の活用などは、毎週全 ALT が集まって研修をすることにより、共通理解が図られ、指導力の向上がみられた。

※1 子供達が教師やALTの話す英語を聞いて、その内容をトップダウン的に概ね理解する力を養うため、わかりやすい英語を話す工夫として、Model（ジェスチャーを用いたり、visual aids を示しながら話す。）、Example（抽象的な中身は具体例などを使って話し「抽象のハコ」を昇り降りする。）、Redundancy（同じ内容を説明するのに、英語の表現を変えたり、発想を変えて話す。）、Repetition（大切な内容や文は繰り返しながら話す。）、Interaction（教師のみが話すのではなく、子供達と相互交渉しながら話す。また、子供達とテキストとの相互交渉を促進する。）、Expansion（子供達の発音の誤りを何気なく訂正したり、better な形に言い換えて話す。）、Reward（生徒の発話に対しては積極的な評価を言葉で表す。）が重要な要素となります。これらの要素は子供達に英語を教える際には大変有効であり、これらの頭文字をとった造語。

<平成 26 年度活動状況>

- ALT の雇用契約は業務委託による 3 年契約の 2 年目である。市の委託方針及び内容の確実な履行が図られ、小学校の英語コミュニケーション科及び中学校の外国語（英語科）が円滑に推進されている。
- 英語コミュニケーション科の授業については、今年度は担任教師と外国語指導助手が効果的に係り合う授業のあり方や、聞く活動（インプット）とやりとり（インタラクション）をキーワードとした授業展開が一層充実できるよう、指導法研修等を充実させている。さらに、年間指導計画や授業細案の修正、教材開発に向けての研修会を計画的に進めている。
- 小中連携については、小学校英語コミュニケーション科の授業内容を活かした、中学校英語科授業の展開例について、具体的な指導案等を作成するとともに、模擬授業を実施しながら、研修会の充実を図っている。

② サタデー・スクール事業

<平成 25 年度実績>

市内全小・中学校の小学 6 年生と中学 3 年生の希望者を対象に、10 月から 2 月までの毎週土曜日、宇都宮大学生による補習授業を行い、児童生徒の基礎的・基本的な学力の向上を図った。

<実施状況>

- 実施状況 小学校 6 年生（国語・算数）・中学校 3 年生（国語・数学・英語）

区 分	該当者数	参加者数	参加率	実施日数	会 場
小学校	219 人	123 人	56.1%	15 日	旧向田小学校
中学校	237 人	72 人	30.3%	15 日	〃

※ 降雪のため 1 回休校

- 講 師 宇都宮大学生の講師登録者…30 人 延べ 225 人（15 回）
- 運営委員会 1 回実施
- 運 営 委 員 10 人（宇大教授 3 人・校長 2 人・教員 2 人・事務局 3 人）
- 参 加 費 無 料（教材費別途）
- 参加者送迎 スクールバス等 11 台使用、11 コースに分けて送迎（運転業務委託）

<点検及び評価>

- 平成 24 年度と同様の実施であるが、少子化による学校規模の縮小化に伴う多様な他者との交流不足及び将来の統合をも視野に、全クラスとも各学校の参加者が混ざるようなクラス編制とした。その結果、休み時間には他校生との交流がみられた。
- 小学校 6 年生は、標準・発展、中学校 3 年生は、基礎・標準・発展の参加者希望による習熟度別学級編制を行い、個に応じた指導の充実を図った。
- サタデー・スクールの充実の鍵は授業の質にある。そこで、宇都宮大学スクールサポートセンターとの連携を密に

し、事前の研修会、授業前と授業後の打ち合わせ、担当による授業状況の把握などを行い、問題がある場合にはその解決に努めた。

- 児童生徒指導については各学校と連携しながら、迅速な対応に努めた。
- サテースクールでの状況を広く市民に公開するため、市教委ホームページを使って毎月1回サテースクールの様子やお知らせなどを掲載した。
- 実施後のアンケート調査において、参加者に対する「サテースクールに参加して役に立ちましたか」の質問に、小学生・中学生とも95%が役に立ったと回答している。また、保護者に対しての「サテースクールに満足していますか」という質問には88%の保護者が満足していると回答している。参加者の自由記述では、「今まで理解できなかったことが理解できるようになった」、「先生が丁寧に分かりやすく、詳しく教えてくれたので楽しかった」、「予習・復習になった」などの感想が、保護者からは「他校の参加者と学ぶことで刺激になった」、「バスの送迎で安心して通えた」、「学習習慣が身についた」などの感想があり、概ね目標を達成することができた。

<平成26年度の活動状況>

- 参加者の募集については、お知らせ版や市教委ホームページ等を通じて、本市の小・中学校における対象となる児童生徒のほか、本市から他地区の学校に通学している児童生徒にも拡大を図っている。また、担当者が各小・中学校を訪問し、対象となる児童生徒にサテースクールの説明及び参加者募集を行っている。
- 平成25年度と同様の実施であるが、小学生においても理解度に差がみられるため、個に応じた指導の充実を目標に参加者の希望による習熟度別学級編制（基礎・標準）で実施している。それに伴い、使用テキストも習熟度別学級に対応したものを採用している。
- 参加者の増加に伴いバス送迎は11コースとするとともに、授業ではT・T体制を維持するため、宇都宮大学と連携を図り、曜日変更等の対応を行っている。

③ 中学生海外派遣事業

<平成25年度実績>

中学生を本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国メモリー市に派遣し、現地の中学生等との交流や歴史文化の探索、教育事情の視察研修を行い、国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うことができた。

○平成25年度実施状況

- ・実施時期 平成25年5月20日～28日（9日間）
- ・行き先 アメリカ合衆国 メモリー市
- ・参加者 団長「網野学校教育課長」 事務局「郡司主事」
下江川中学校 3人（女子3人）
荒川中学校 4人（男子2人・女子2人）

烏山中学校 9人（女子9人）
 合計 16人（男子2人・女子14人）

<点検及び評価>

- 本事業により、本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国のメモリー市において、現地の中学生等との交流会や歴史文化の探索、ホームステイ体験を通じての国際感覚と語学研修を視野に入れたコミュニケーション能力の育成を図ることができ、参加した中学生の国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うことができた。
- 参加する中学生について、事前研修会において個人課題を設定し、課題解決のための準備を行ったことで、より充実した活動を送るとともに、帰国後の報告会において成果を具体的に発表することができた。
- 派遣団員の決定について、できる限り早い段階に選考し、ホストファミリーとのメール等でのやり取りの期間を多く取ることが望ましい。

<平成26年度活動状況>

- 平成26年度中学生海外派遣事業について検討した結果、派遣時期については例年の5月、参加対象学年については中学2・3年生を対象とすることとし、本市在住で他市町の中学校へ通学する生徒を新たに加えた。また、参加者の選考については、参加者は本市の代表派遣であることから、選考基準の設定及び作文・面接を実施することとし、選考時期を早めに設定した。
- 団員選考を早期に行うことにより、事前研修の回数が例年より増やすことができた。
- 派遣団員は、事前研修において個人課題を設定し、事業後にレポートを作成することとした。

④ 就学指導の実施

<平成25年度実績>

- 南那須地区の就学指導委員会として那珂川町と共同で設置しており、就学指導委員12名、就学指導専門調査員11名を委嘱し、下記のとおり委員会を開催した。

区 分	実施日	備 考
第1回就学指導委員会	5/21	昨年度の反省と今年度の計画・組織づくり
就学指導専門部会	8/20 他12回	部会による就学判断の協議（各学校や保育園、幼稚園を会場に実施）
第2回就学指導委員会	10/3	全体による就学判断の協議・判断
第3回就学指導委員会	12/3	全体による就学判断の協議・判断
臨時就学指導委員会	1/23 3/26	全体による就学判断の協議・判断（臨時開催）

- 取扱事例は40事例（うち本市23事例）。これらについて、就学相談、検査・調査等の実施、

就学指導委員会での検討、協議、判断を行った。

- 就学相談は保護者や関係者との電話相談、訪問相談、直接面談等により、67件、延べ136回行った。

<点検と評価>

- 就学相談については、幼稚園や保育園への巡回相談を実施した。支援の手立ての提供、保護者や関係者からの相談に早めに対応することができた。
- こども発達支援センターや特別支援学校の早期教育相談室との連携により、早目の丁寧な就学相談対応が可能となった。
- 特別支援教育等について家族全体の理解を得にくいケースが少なくなかった。今後は、子どもたち一人一人に合った教育環境を提供し、学力を保障するために、特別支援教育について関係機関と連携し、地域、保護者等に啓発していく必要があると思われる。
- 就学指導委員会では、専門部会を各学校や園で行い、事前の調査等について時間をかけて行い、より総合的な判断ができるようにした。当初予定の就学指導委員会終了後に、入級などの必要が出た場合、臨時の委員会を開催し、次年度に間に合うように就学判断を行った。
- 判断結果についての理解が得にくい場合は、就学先・進学先への移行支援、その後の継続的なフォローが必要となっている。

<平成26年度活動状況>

- 今年度もこども課や各関係機関と連携し、子どもたちの課題の早期発見・早期対応に努め、保護者や関係者などの相談には迅速かつ適切に対応できるように進めている。
- 幼稚園、保育園への巡回相談を早めに実施し、就学指導が必要と思われる児童については園を通して保護者に声をかけてもらい、就学相談につなげるように努めている。
- 専門部会を昨年同様に各学校や園で実施し、より専門的に調査ができるよう努めている。
- 今年度より、名称を「就学指導委員会」から「教育支援委員会」へ改め、早期からの教育相談や支援・就学後の一貫した教育支援が行えるように努めている。また、市内の小中学校の保護者へ教育支援委員会のパンフレットを配布し、普及・啓発に努めている。

(2) 教育環境の整備

① 非常勤講師等の配置事業

<平成 25 年度実績>

- 学級支援員については、小学 1 年生学級に 8 名、小学 2 年生学級に 8 名を配置し、担任教師の負担軽減と、クラスの学習意欲の充実を図った。
- 障がいのある児童生徒に生活支援員を 3 名配置し、学校生活全般における支援を行った。
- 新たに通級指導教室を担当する学校支援員を 1 名配置した。

<点検と評価>

- 非常勤講師の配置により、教員の負担軽減と学習指導の充実を図ることができた。
- 障がいのある児童生徒が増加傾向にあり、現在の生活支援員数では充分でないことから、学校との連絡をとりながら生活支援員数の増員などについて検討していきたい。
- 臨時職員においても、常に教職員としての心構えや自覚を促すため、随時に研修会等の開催も実施したい。

<平成 26 年度活動状況>

- 学級支援員を小学校 1 年生学級に 8 名、小学校 2 年生学級に 8 名、通級指導教室等に 2 名、事務補助員 2 名をそれぞれ配置し、担任教師の負担軽減と教育活動の充実に努めている。

② 奨学資金制度

<平成 25 年度実績>

- 教育の機会均衡の趣旨に基づき、修学能力があるにもかかわらず、経済的理由等により修学困難な生徒及び学生に、下記のとおり修学に必要な資金の一部を給付した。

・平成25年度認定	高 校 生	14人×年	100,000 円	=	1,400,000 円
	短大生等	1 人×年	200,000 円	=	200,000 円
	大 学 生	17人×年	200,000 円	=	3,400,000 円
	合 計	32人			5,000,000 円

<点検及び評価>

- 経済的理由により修学が困難な家庭の生徒に奨学金を給付することにより、有用な人材育成と教育の機会均等に資する目的が果たせた。
- 平成 20 年度からの新たな奨学資金制度の実施により、奨学金貸与から奨学金給付へ、また、高校生のみを対象者を短大・大学生まで枠を広げた。更に、各種学校において修業年限が長期化、多様化している状況に対応できるよう、給付期間を修業年限に合わせるよう制度を改正したことにより、教育を受ける機会を与え、社会に有益な人材育成を図ることが期待でき

ると考えられる。

○市奨学金については、国債購入による利子により運用しているが、平成 29 年度に満期となるため、以降の運用について検討が必要となる。

<平成 26 年度活動状況>

○那須烏山市奨学生選考委員会により下記のとおり第 8 回奨学生を決定した。

・平成26年度認定	高 校 生	4 人×年	100,000 円＝	400,000 円
	短大生等	0 人×年	200,000 円＝	0 円
	大 学 生	6 人×年	200,000 円＝	1,200,000 円
	合 計	10人		1,600,000 円

○市の奨学金制度及び公益信託である平野奨学金制度との連携も含め、奨学金制度の目的である、経済的理由により修学困難な生徒・学生に修学の機会を与えられるよう継続していきたい。なお、平野奨学金制度では、高校生 2 人が認定されている。

③ 小・中学校の施設整備

<平成 25 年度実績>

安全かつ充実した教育環境整備のため、学校施設の整備を行った。

<平成 25 年度小中学校等建設工事>

学 校 名	事 業 名
烏山小学校	烏山小・中学校共同調理場解体・給食用配膳室改修工事
〃	駐車場舗装工事
七合小学校	トイレ改修工事（6 箇所）
江川小学校	トイレ改修工事（5 箇所）
〃	耐震診断（二次）
烏山中学校	グラント整備工事
〃	グラント整備工事設計
下江川中学校	グラント整備工事
〃	グラント整備工事設計
〃	フェンス設置工事
〃	体育館屋根防水工事
〃	江川小・下江川中大規模改修工事概算設計

<点検及び評価>

○「学校教育法・学校設置基準」に掲げる必要な施設整備を、安全かつ合理的に整備することで、より良い教育環境の中で、児童・生徒の健全育成が図られた。

○烏山小学校及び烏山中学校共同調理場が那須烏山市学校給食センターに統合したので、不用

- となった両共同調理場を解体し、烏山小学校の配膳室と駐車場を整備した。
- 七合小学校及び境小学校の和式トイレを洋式トイレに改修した。
- 凹凸があり水はけの悪かった烏山中学校及び下江川中学校のグラウンドを整備した。

<平成 26 年度状況>

<平成 26 年度小中学校等建設工事計画>

学 校 名	事 業 名
荒川小学校	グラウンド整備工事設計
江川小学校	雨漏れ改修工事
烏山小学校	渡り廊下防水改修工事
境小学校	トイレ改修工事（5箇所）
荒川中学校	校舎大規模改修工事（建築）
〃	校舎大規模改修工事（電気）
〃	校舎大規模改修工事（機械）
〃	校舎大規模改修工事監理
下江川中学校	校舎及び体育館大規模改修工事設計

④ 教育情報ネットワーク整備事業

<平成 25 年度実績>

- 平成 19 年度に新規構築したネットワークを平成 20、21 年度に拡充、整備を行い、平成 25 年度においても、保守、修繕を行った。
- 各学校に、2 クラスに 1 台の割合で電子黒板及び書画カメラを配置し、併せて小学校には理科、中学校には英語、地理等の電子教科書をそれぞれ配置した。

<平成 25 年度実施状況>

・普通授業によるネットワーク活用状況

- 小学校・・・デジタル教科書を利用した授業実践、自己紹介カード作成、ホームページ作成、卒業デジタルアルバム作成、電子黒板及び書画カメラを利用した授業実践等
- 中学校・・・Word・Excel・PowerPoint の操作、卒業デジタルアルバム作成、電子黒板書画カメラを利用した授業実践等

・教職員によるネットワーク活用状況

- Office 系ソフトの操作研修
- 校務のデータ化（週案、調査書等）
- グループウェアの活用
- 学校ホームページの活用
- ICT 機器の活用

<点検及び評価>

- 本事業により、教職員一人に1台のパソコンを配置して校務の情報化を図り、教職員の事務負担を軽減することができた。
- 児童生徒については、授業の中で実際にパソコン操作を行い、社会に出るにあたっての必要なスキルを身につけることができた。また、情報モラル教育を実施することができた。
- 普通教室に電子黒板を配置したことにより、よりわかりやすい授業を展開することができた。

<平成26年度活動状況>

- 教職員に配置しているパソコンの耐用年数が過ぎているため、パソコンの入替えを行った（リース）。
- 校務のデータ化をさらに推進するため、指導要録、通知票の一部電子化を実施している。
- 平成25年度に整備した電子黒板について、より一層の利活用ができるよう検討を進めている。

⑤ 教育相談センター「かけはし」の設置

<平成25年度実績>

- いじめや不登校、人間関係など教育活動全般にわたって児童生徒や保護者、教職員等からの相談に応じるため、教育相談センター「かけはし」を設置し、すこやか推進室を中心に相談業務を行った。

<平成25年度相談状況>

相談内容	件数	延件数	相談方法（件数）			
			来所	電話	訪問	合計
いじめ	0	0	0	0	0	0
不登校	3	8	3	1	4	8
就学関係	67	136	68	3	65	136
その他	123	338	44	11	283	338
合計	193	482	115	15	352	482

※その他は、家庭での不安、情緒面の不安定、クラスでの不適応など

<点検及び評価>

- すこやか推進室の相談事業について学校を通じて保護者に周知していただくとともに、教職員の方々にご理解いただき、大変充実している。継続的に面接し、児童生徒の特性や心理状態を探り問題解決に至るまで、臨床心理士や指導主事が細やかに対応してきた。
- 相談により解決に結びつく事例は多いものの、年々相談内容が複雑化している傾向であり、中には、時間と回数を重ねても相談指導を行っても保護者の理解が得られない事例も多い。
- 学校やこども課、医療・療育機関などと連携を図りながら相談指導を行った。

<平成 26 年度活動状況>

- 児童生徒や保護者、教職員等からの相談が複雑化しているが、問題の解決に向けて、個々のニーズに応じ丁寧に対応している。
- 複雑化した問題に関係機関と綿密な連携をとり、それぞれの役割を確認しながら問題解決に当たっている。

⑥ すこやか表彰の実施

<平成 25 年度実績>

- 児童生徒の健全な心身の発達を助長する目的のため、市長、教育長が学校を訪問し、努力賞・奉仕賞・親切賞・体育賞・文芸賞の5部門で小学生208名、学力賞・体育賞・文化賞の3部門で中学生4名を表彰した。

<点検及び評価>

- それぞれの分野で児童生徒が表彰されたことにより、学校生活に潤いを与えるとともに、受賞した児童生徒の励みや意欲向上につながった。
- すこやか表彰の記念品等について、小学生に和紙の賞状とメダル、中学生にはクリスタルの盾の賞状と電子辞書を授与したが、今後検討していきたい。
- 中学校の表彰式については、学校の実情により、当初予定の日程を遅らせ、臨機応変に対応した。

<平成 26 年度活動状況>

- 小学生については昨年同様、市長と教育長が学校訪問をし、学期ごとに直接賞状と記念品を授与することとしている。
- 中学生については、特に優秀な生徒を学校推薦により、市長と教育長が学校訪問をし、直接記念の盾と記念品を授与することとしている。時期については昨年度の状況を踏まえ調整する。

⑦ スクールカウンセラー・心の教室相談員の設置

<平成 25 年度実績>

- 「スクールカウンセラー」については、県費において2名が配置され、市内全小・中学校の児童・生徒を、また、市費において1名が烏山中に「心の教室相談員」を配置し、不登校や人間関係、問題行動、発達障害等について児童生徒や保護者、教職員との相談を行い問題解決にあたった。

<点検及び評価>

- 児童生徒や保護者、教職員との相談により、問題の早期解決や改善に結びついた。
- 不登校生や問題をもつ児童生徒、及びその保護者に対して、専門的な立場からきめ細かな対応ができた。

<平成 26 年度活動状況>

○平成 25 年度と同様に「スクールカウンセラー」、「心の教室相談員」を配置し、不登校や人間関係、問題行動、発達障害等について児童生徒や保護者、教職員との相談を行い問題解決にあたっている。また、「心の教室相談員」については、昨年同様、烏山中学校に 1 名を配置している。

⑧ 適応指導教室

<平成 25 年度実績>

適応指導教室（レインボーハウス）において、教員 1 名、教育相談員 2 名を配置し、通室児童生徒一人一人の実態に応じた個別、小集団による活動を通して、自立を促し、学校生活への適応を図るための指導を行った。

- ・平成 25 年度通室者数 小学生 4 人 中学生 9 人 計 13 名（本市 9 名・那珂川町 4 名）
- ・主な年間活動 学習相談、個別相談、奉仕作業、植物の世話、見学旅行、キャンプ、りんご狩り、調理実習など

<点検及び評価>

- 友人とのかかわりや各活動を通して、徐々に人間関係の改善や集団への適応を図ることができるようになった。
- 学校生活への適応を図るための援助指導として、一人一人の課題やニーズに合わせた学習相談、個別相談、保護者や在籍校との連携等を行うことにより、学校に少しずつ登校することができるようになった生徒もいた。また、引きこもりの児童生徒に対し、各機関と連携し、最善策を探りながら努力し続けたことにより、レインボーハウスへ通室できるようになった生徒もいた。

<平成 26 年度活動状況>

- 様々な活動を通して、集団生活での人間関係の大切さと協調性の向上、及び自立を促し、学校生活への自信と適応を図るために指導を行っている。現在の在籍は 11 名である。（うち、全面登校の児童生徒 2 名、部分登校 5 名）
- 不登校児童、生徒の人数はやや増えており、学校はもちろんのこと、本教室にも通室できない児童、生徒が依然としている。そこで、各学校及び保護者に対して、継続して本教室の理解を深める活動や引きこもりの児童、生徒に対する訪問指導や支援に努めたい。

(3) 教職員の指導力の向上

① 全国学力・学習状況調査の分析及び指導資料の作成

<平成 25 年度実績>

- 平成 25 年度は、4 年ぶりの悉皆調査として 4 月 24 日に実施された。本市では、全ての小・中学校で実施し、小学校 6 年生 239 人、中学校 3 年生 220 人が調査に参加した。
- 学力調査においては、平均正答率，領域別の平均正答率，問題形式別の平均正答率，同一集団における変容，各教科における解答類型（誤答分析）等について様々な面から分析し、全国や県の結果や過去の結果等と比較し、本市の教育指導の成果と課題を明らかにした。
- 学習状況調査においては、生徒質問紙にあるすべての質問について、県の調査結果と比較したり、学校質問紙との関連について考察したりすることで、本市児童生徒の特徴について分析した。併せて、学力調査と学習状況調査の相関関係を示したクロス分析も行った。
- 分析結果は、冊子にまとめ、教育委員会及び校長会等で説明資料として使用した。さらに、市及び各学校での分析結果をもとに学校ごとの課題を明らかにし、授業の改善を図るため、指導主事が全小・中学校を訪問し、「調査結果を踏まえた研修会」を実施した。これにより、本市の教育行政や各学校の教育活動の指導改善を図った。

<平成 25 年度実施の分析結果の概要>

- ・市全体の結果は、小・中学校において各教科とも栃木県平均正答率をやや下回る結果となった。
- ・小学校においては、国語 A・算数 A の「知識」に関する問題で県平均正答率に迫る結果となった。しかし、「活用」に関する問題である国語 B では、県平均正答率を 5 ポイント以上下回る結果となり、算数 B においても過去 4 年間で県平均正答率との差が最も大きくなった。
- ・中学校においては、国語 A B・数学 A において県平均正答率に迫る結果である。しかし、数学 B では、過去 4 年間で最も低いポイントになった。

<点検及び評価＝平成 25 年度分析結果内容抜粋>

○学力調査

小学校（国語 A・B）

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことについては、全国の平均正答率を上回っている。
- ・「文」が句点によって区切られることの理解に課題が見られる。
- ・相手の立場や状況を感じ取って聞いたり、話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をしたりすることを問う問題において課題が見られる。

小学校（算数 A・B）

- ・単位量あたりの大きさを求める除法の式の意味を理解することについて課題が見られる。
- ・数と言葉を用いて記述することに課題がある。

中学校（国語 A・B）

- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことを問う問題では、全国の平均正答率を上

回っている。

- ・図と文章との関係を捉える問題や課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える問題において課題が見られる。
- ・本文を適切に引用して考えを書く問題に課題が見られる。

中学校（数学A・B）

- ・球と円柱との体積の関係，関数の意味，比例の表とグラフの関係，簡単な確率など基本的な内容の設問については、全国の平均正答率を上回っている。
- ・除法を用いて単位量あたりの重さを求める問題は、小学校と同様課題がある。
- ・判断の理由を数学的な解釈に基づいて、適切な表現を用いて的確に説明することに課題が見られる。
- ・説明するための見通しをもち、事柄が成り立つ理由について根拠を明確にして説明することに課題が見られる。

○学習状況調査（生徒質問紙）

小学校

- ・基本的な生活習慣の面で規則正しい睡眠をとっていることがわかる。また、読書量や図書館利用が多い。
- ・地域や社会の出来事への関心は、県平均に比べ10ポイント低い。
- ・普段の授業における本やインターネットを使って調べる学習を行う割合が、県の平均に比べ12ポイント以上低い。

中学校

- ・中学校においては、普段、ゲームやテレビに3時間以上の時間を費やしている生徒の割合が県平均と比べ、10ポイント以上上回っている。
- ・家庭での学習時間は、県平均と比べて平日で16ポイント、土日で約7ポイント低くなっている。家庭学習への取り組み状況（計画的学習・予習・復習等）においても県平均より低い結果である。
- ・普段の授業における調べる活動・発表・話し合う活動の実施状況が県平均と比べ、10ポイント以上低い結果である。
- ・国語の授業については、技能・表現に関する内容への取り組み状況が県平均と比べ、約10ポイント以上低い結果である。
- ・数学の授業における取り組み状況や関心・意欲・態度についての質問では、ほとんどの質問で県平均と比べ、約10ポイント以上低い結果である。

<平成26年度活動状況>

○平成26年度は、昨年度同様、悉皆調査として4月17日に、国語及び算数（数学）が実施された。本市では、小学校5校、中学校3校すべてが調査に参加した。

○現在、市教委で分析を重ねている。各学校においても昨年度に実施した「調査結果を踏ま

えた研修会」を参考に分析を行い、その結果を授業や指導の改善に役立てることで教育指導に関する検証改善サイクルの確立を図っている。

② 学校訪問

<平成 25 年度実績>

○教育行政努力目標の達成のため、学校教育全般にわたり指導助言を行うとともに、学校の教育実践上の課題について研究協議や援助指導を行った。

- ・計画訪問＝3年に一度、学校の教育活動全般について指導助言する。

(七合小、つくし幼稚園)

- ・経営訪問＝学校経営計画や方針等、教育全般について指導助言する。

- ・要請訪問＝学校の教育活動や教育研究を援助するため、要請に応じて訪問し指導助言する。

(江川小、荒川小、境小、烏山小、七合小、下江川中、荒川中、烏山中)

<点検及び評価>

○計画訪問については予定通り実施することができ、学校運営や教育活動全般にわたって指導助言することができた。

○経営訪問については予定通り実施することができ、学校経営や教育活動全般にわたって指導助言することができた。

○学校課題は、要請訪問では、いずれの場合も市の教育推進事業「言語活動の充実」を各学校で学校課題の追究の一つの視点として位置づけて市の教育推進を図るとともに、各校の学校課題の追究に向けて指導・支援に努めた。

<平成 26 年度活動状況>

○計画訪問については、烏山小(7月)、烏山中(10月)、荒川小(11月)を訪問し、指導・助言をしている。

○初任者訪問については、烏山中、荒川中、境小、七合小を9月、10月に訪問し、指導・助言をしている。

○今年度も市の教育推進重点事業として「言語活動の充実」を位置づけている。

③ 教職員研修の実施

<平成 25 年度実績>

○教職員の指導力や資質の向上のために、塩谷南那須地区教育委員会連合会主催や本市教育委員会と那珂川町教育委員会との共催、本市単独で講演会や研修会等を実施した。

研修区分	参加者	会 場	内 容	主催者等
情報教育研修	22 人	南那須庁舎 荒川小	ICT 機器の効果的な活用法 ICT 機器を活用した授業研究会	那須烏山市教委
教育研究発表 会・教育講演会	180 人	高根沢町 文化会館	講演会（川島隆太氏）	塩谷南那須地区教 育委員会連合会
教育講演会	150 人	烏山公民館	講演会（菊田信氏）	那須烏山市教委
学力向上研修	180 人	各学校	学力向上に向けた PDCA マネジメントサイクル の構築	那須烏山市教委
市教育重点推 進事業研修	10 人	南那須庁舎	言語活動の充実を図った授業等	那須烏山市教委

<点検及び評価>

○教育の今日的課題や教育活動上の課題等において、講話や協議、情報交換等を行うことにより教職員の資質と指導力の向上を図ることができた。

○那須烏山市教育振興ビジョンに掲げる市の教育をさらに組織的に推進することが望まれる。

<平成 26 年度活動状況>

○市教育振興ビジョンを踏まえ、市の教育重点推進事業として、言語活動の充実、小中連携・一貫教育、英語コミュニケーション推進、ICT 教育、防災教育推進を位置づけ、各種の研修会を実施している。

(4) 平成 25 年度各学校の教育活動の評価

各学校が自らの教育活動その他の学校運営について目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図るとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携・協力による学校づくりを進めることを目的に学校評価を実施する。

<平成 25 年度実績>

- 市教委としての「知」、「徳」、「体」と「学校運営」、「関係者との連携」の視点から評価項目を6項目設定した。そして、その項目ごとに市教委としての重点目標を1つ示した。
- 各学校は、市教委が示した項目とその重点目標を踏まえ、学校独自の重点目標を設定し、さらに具体目標・具体策、年間評価計画を作成した。その計画に沿って学校関係者への説明をはじめ、自己評価や外部アンケート、学校関係者評価等を実施し、それらを分析して改善策を策定し、学校評価としてまとめた。そして、次年度の重点目標や具体的な取り組みについて検討した。

<点検及び評価>

項目	重点目標	学校の評価 (○成果 △課題)
学校運営・教育課程	学校や地域の特色を生かした創意ある教育課程を編成、実施、評価に努める。	○校長の学校経営ビジョンを柱とした、研究校指定や昨年度の学校評価を生かした特色ある教育課程の編成に努めることができた。 ○1年間の学校行事等の見直しをもち、週指導計画で週・月・学期ごとの授業時数の量的管理をするとともに授業進捗の確認、成果や課題の明確化と管理職による授業参観などを通し、質的管理に努めることができた。 △小中の接続を考慮した行事等の見直し、教育課程の質的な改善、地域及び地域人材の発掘や効果的な活用の仕方についてさらに取り組む必要がある。
学習指導	知的学力を保障するために、言語活動の充実を視点に分かる授業の展開に努める。	○市の教育重点推進事業「言語活動の充実」をテーマにした研修実践が3年目を迎え、思考力・判断力・表現力等の育成や、言語活動を支えるものとして豊かな語彙、学習に必要な用語の確実な習得、読書活動、言語環境の整備が、一層進んだ。 ○「言語活動の充実」を図るために、児童生徒の思考過程と関連を図った、板書計画とノート指導の一体化が図られるようになった。 △授業において ICT 機器やデジタル教材の有効活用をさらに図るため、研修等で身につけた知識を活かした授業づくりと実践を図っていく必要がある。

項目	重点目標	学校の評価 (○成果 △課題)
児童生徒指導	学業指導の充実に努める。	○めあてを意識させ、互いに認め合い高め合える学級作りを進めるとともに、互いを称賛し合える機会を設定し、帰属意識の高い学級作りを行ったことにより、居がいがあり、潤いのある学級経営がなされている。 ○QUの実施結果をもとに、ソーシャルレーン等を実施し、良好な人間関係の構築に向けた取組が継続的に実施された。 △小中連携を踏まえ、基本的な生活習慣の定着を図るための実施計画について発達段階を考慮しながら見直す必要がある。
特別支援教育	特別な支援を必要としている児童生徒へきめ細やかな指導に努める。	○すこやか推進室との連携の下、特別の教育的支援を必要としている児童生徒や不登校生への適切な対応に努めるとともに学校生活の安定化や学校復帰が図れた事例も数多い。 ○定期的に教職員間で共通理解に立ち、教育相談やアンケートの実施、良好な人間関係の構築に向けた活動などを通して、問題行動の早期発見・早期対応や未然防止に努めた。 △配慮を要する児童生徒への保護者の理解や連携を一層図るとともに、専門機関との連携が必要である。
保健・安全指導	登下校の交通事故防止など、安全指導の充実に努める。	○PTA やスクールガードリーダー等と連携し、街頭指導や下校指導、自転車点検等を通して、安全意識の高揚を図ることができた。 ○学校防災マニュアルに従った、計画的な各種訓練(地震、火災、竜巻、不審者、保護者引渡し)を実施することができた。 △防災教育全体計画及び教育課程に位置づけられた防災教育について、点検、見直しが必要である。また、家庭との連携事業を計画する必要がある。
家庭・地域との連携	地域や保護者から信頼を得るための取組みに努める。	○授業参観や学校・学年便りの定期的な発行、学校ホームページへの更新などにより、家庭や地域に積極的に情報を提供することができた。 △学校行事や各教科等の学習で地域人材の活用を図ったが、地域人材や地域教育力の活用については、様々な領域での展開をさらに検討する必要がある。

<平成 26 年度の実施状況>

○学校評価報告書の項目と那須烏山市教育振興ビジョンとの関連を一層図るとともに、学業指導に ABC/R 運動の位置づけ、計画的、継続的な指導を実践している。

◎ 生涯学習

(5) 生涯学習

① 社会教育

<平成 25 年度実績>

- 市民の主体的な学習活動を支援するため、子どもや青少年、女性、一般を対象とした各種の育成事業等を実施した。
- コミュニティ活動、地域環境美化、国際交流、結婚推進など幅広い活動を展開した。

ア. 社会教育委員 14 人（公民館運営審議会委員兼任）

○社会教育委員会議開催状況

開催年月日	出席者数	内 容
平成 25 年 6 月 24 日 (月)	11 人	a 第 44 回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について b 那須烏山市生涯学習推進計画策定について
平成 26 年 3 月 26 日 (水)	6 人	a 平成 25 年度社会教育・社会体育事業の報告について b 平成 26 年度社会教育・社会体育事業の概要について

○第44回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会

開催年月日	開催場所	委員参加者	備 考
平成25年11月14日(木)～15日(金)	日光市	9 人	宿泊 3 人、日帰り 6 人

イ. 社会教育指導員 2 人 任用期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

ウ. 青少年育成関係事業

事 業 名	開 催 期 間	開催場所	参加人数
「家庭の日」普及推進・啓発	随 時	市 内	—
青少年健全育成強調月間広報・啓発	7・11・3 月	市 内	—
南那須地区育成会球技大会	7 月 27 日	緑地運動公園	300 人

エ. ジュニアリーダー指導育成事業

○会員の構成……………高校生 10 名（男子 2 名・女子 8 名）

○主な活動内容

内 容	回 数	備 考
定例研修会	9 回	月 1、2 回程度
塩谷南那須地区ジュニアリーダー研修会	1 回	那珂川町青少年旅行村
ボランティア協力依頼	14 回	成人式、南那須図書館おはなし会、マラソン大会、こども館事業、各種イベント協力等
清掃活動	5 回	山あげ祭、いかんべ祭の清掃活動

オ. 成人式開催状況

平成 26 年 1 月 11 日（土）風月カントリー倶楽部 出席者 239 名 出席率 76.6%

カ. 女性研修「みんなの集い」実施状況（女性団体連絡協議会委託事業）

実施年月日	参加者	内 容	場 所・補助額
平成 25 年 11 月 8 日	41 人	講演：とちぎ男女共同参画財団職員 視察研修：下野農園	パルティとちぎ男女共同参画センターほか

キ. 生涯学習まつり、文化講演会、人権教育啓発 DVD 上映 同時開催状況

開催日（会場）	講 演 内 容 等	受講者数
平成 25 年 11 月 23 日 （烏山公民館）	演題「男性介護：親父の介護」 講師：荒川 不二夫氏（荒川区男性介護者の会代表）	193 人
	団体発表：ハーモニカ愛好会演奏、歌え！バンバン合唱、歌う友の会合唱、公民館活動作品展示	
	人権啓発 DVD 放映「シンク・アクト・アクト」「ボクとガク」	

ク. 地域子ども教室推進事業

○那須烏山若鮎クラブ

教室名	区 分	開催日	参加者 (人)
No.1 開講式・戦場が原ハイキング		5 月 12 日	28
No.2 だろんこ体験（古代米田植え体験）		5 月 26 日	28
No.3 地域の自然を知ろう！葉っぱ星人ごっこ		6 月 8 日	28
No.4 地域の文化を知ろう！和紙すきに挑戦		6 月 22 日	27
No.5 世代間交流 グラントゴルフ体験		7 月 6 日	27
No.6 地域の自然を知ろう！那珂川を知ろう		7 月 20 日	27
No.7 地域の自然を感じよう！座禅と滝行（滝浴び）に挑戦		8 月 3 日	24
No.8 山の自然に親しもう！我らが山、茶臼岳へ行く		8 月 17～ 18 日	22
No.9 地域の自然を知ろう！水遊園で淡水魚を学ぼう		9 月 14 日	27
No.10 ペニスル		9 月 28 日	11
No.11 だろんこ体験（稲刈り体験）		10 月 6 日	13

教室名	区 分	開催日	参加者 (人)
No.12	地域の文化を知ろう！烏山線でみんなの栃木県庁見学	10月26日	17
No.13	どろんこ体験（七合公民館収穫祭）	11月10日	27
No.14	スポーツクリエイション スケートに挑戦（日光）	11月30日	25
No.15	伝統文化（杵と臼で餅つき）体験	12月7日	15
No.16	クリスマスケーキ作りに挑戦！	12月21日	26
No.17	地域の文化を知ろう！デインブルアートに挑戦！	1月11日	26
No.18	ヘアエール	1月25日	22
No.19	手作りバレンタイン&ホワイトデー	2月8日	21
No.20	「われら山の子、海へ行く」海浜自然の家	2月22日 ～23日	21
No.21	地域の文化を知ろう！手作り弁当に挑戦・閉講式	3月8日	25
計		21回	487

○放課後子ども教室（国・県補助事業、放課後や週末の子どもたちの安全・安心な活動拠点とするほか、地域の教育力の向上を図る）

教室名	実施日	内 容
ここなす教室 (テスト教室)	1月18日 2月1日	対 象：烏山小1～6年 延参加者：17名 スタッフ：10名ほかボランティア

ケ．花いっぱい運動（コンクール参加24団体）

- ・最優秀賞 東原3班ボランティア
- ・優秀賞 大沢長寿会、大金子供会育成会・大金いきいきクラブ
- ・優良賞 三箇下いきいきクラブ、母子寡婦福祉会、下稻積長寿会、興野自治会、神長上フラワークラブ

コ．地域ふれあい活動事業（参加18団体）

- ・地域全体で取り組む組織づくり（自主的・継続的活動）

サ．次世代人材育成事業・・・栃木県次世代人材育成事業派遣（平成25年度市内応募者なし）

シ. 国際交流事業（国際交流協会主催）

○外国文化体験交流事業

事業名	内 容
ジョイント・ステイ・トリップ（日本伝統文化体験事業）	9月7日、下川井下公民館ほか 内容：琴平神社秋祭り参加 19名参加（うち外国籍11名）
国際交流クリスマス会	12月18日、風月カントリー倶楽部 内容：ふれあいタイム、ビンゴゲームほか 84名参加（うち外国籍39名）
外国人による日本語で話す発表会	2月16日、烏山公民館 内容：在住在勤の外国籍市民の発表 102名参加（発表者10名）

○外国籍市民支援事業

事業名	内 容
にほん語教室	第2、4木曜日19:00～21:00、烏山公民館

ス. 若者交流事業

○ふれあい交流事業

- ・平成26年2月23日 婚活「素敵な出会いとふれあいイベント」ツイリンクもてぎ
申込者不足のため中止（主催＝南那須結婚相談所連絡協議会）

○結婚相談活動

那須烏山市結婚相談所、南那須地区結婚相談所連絡協議会等の主催によりふれあい交流会や交換会、研修会等を実施した。

開催年月日	内 容	参加者数	主 催
平成25年10月31日	県東部地区（那須烏山市・那珂川町・市貝町・茂木町）結婚相談員情報交換会	23人	那須烏山市結婚相談所
平成26年3月17日	結婚推進員研修会	12人	南那須結婚相談所連絡協議会

<点検及び評価>

- 市民の主体的な学習活動を支援するため、学習ニーズに応じた生涯学習環境を整備すると共に、公民館講座をはじめとした各種学習メニューを幅広く実施し、好評を博した。学習情報等については、各種広報媒体を活用すると共に、「おたのしみプラン」を全戸配布することで、市民への情報提供に努めた。
- 青少年健全育成環境を整備するため栃木県と連携した立入調査、地域の連帯感の醸成を図るための地域ふれあい活動事業、花と緑あふれる地域づくりを進める花づくり推進事業など、住みよい地域環境の整備を進めた。放課後の子どもたちの居場所づくりと地域の教育力向上

を目指して、国県の補助を受けた「放課後こども教室」のテスト教室を試行的に2回開催し、今後の事業のあり方を研究した。

- 社会教育団体については、子ども会育成会、リーダースクラブ、女性団体連絡協議会などの育成・支援に努めたほか、国際交流協会等の事務局として各種事業を展開した。また、成人者自らの企画・運営による成人式を開催し、若者の郷土愛を醸成すると共に、社会人としての自覚と自己責任の決意を促す機会とした。

<平成26年度活動状況>

- 平成25年度を初年度とする「総合計画後期基本計画」及び「生涯学習推進計画第2期計画（H25.4～H30.3）」に基づき、市民の学習意欲を高めるために、生涯学習の機会と環境を整備すると共に、各種指導者や社会教育団体の育成を図り、市民の生涯学習活動の充実を図っている。
- 放課後こども教室については、25年度のテスト教室を経て、年間を通じて試行的な教室を開催している（烏山小学校児童対象）。

② 公民館

<平成25年度実績>

- 烏山公民館、烏山南公民館、境公民館、七合公民館及び南那須公民館において、各種学級・講座を開設した。
- 生涯学習事業や各種サークルの活動拠点として利便性を図るため、施設の修繕や備品の購入を行うなど施設の適正な維持管理等に努めた。

ア. 公民館利用状況

区 分	利用回数（回）			利用延人数（人）		
	25年度	前年度	比較	25年度	前年度	比較
烏山公民館	1,562	1,317	245	31,819	22,657	9,162
烏山南公民館	835	667	168	8,463	7,434	1,029
境公民館	325	222	103	3,851	2,190	1,661
七合公民館	126	48	78	2,417	759	1,658
南那須公民館	746	682	64	15,608	16,583	△975
計	3,594	2,936	658	62,158	49,623	12,535

イ. 各公民館主催の学級・講座等実施状況

区 分	開催回数	受講者（延人数）	前 年 度	比 較
市公民館	14 回	444 人	400 人	44 人
烏山公民館	10 回	104 人	131 人	△27 人
烏山南公民館	11 回	139 人	181 人	△42 人
境公民館	11 回	133 人	112 人	21 人
七合公民館	17 回	418 人	331 人	87 人
南那須公民館	21 回	400 人	350 人	50 人
合 計	81 回	1,505 人	1,505 人	133 人

ウ. 公民館工事

工 事 名	事業費(円)	請負業社名	工 事 概 要
烏山公民館 2 階トイレ修繕工事	606,900	(有)磯電機工業所	和式→洋式トイレ化
烏山公民館電話機交換工事	285,075	東日本電信電話株式会社	電話機システム交換

エ. 公民館備品購入

品 名	事業費(円)	請負業社名	備 品 概 要
烏山公民館 TV・ブルーレイプレーヤー・TV 台	217,350	(有)星テレビ商会	各 1 台
烏山南公民館音楽室ピアノ	12,600	(株)河合楽器製作所	1 台
烏山南公民館調理室暖房器具	67,000	(有)星テレビ商会	

<点検及び評価>

- 各公民館は、非常勤公民館長及び生涯学習指導員並びに社会教育指導員を中心に各種公民館講座を開設し、公民館事業のきっかけ作りを行った。
- 地域の人材を活用するため、指導員の情報交換の機会をつくり、発表の場の提供と地域間、異年齢間の交流を図る機会の提供に努力した。
- 貸し館としての利便性を図るため、備品整備した。

<平成 26 年度活動状況>

- 身近な生涯学習の場となる公民館活動を推進し、市民に親しまれる公民館を目指して効果的な運営に努めている。

(6) 図書館

<平成 25 年度実績>

○平成 24 年度から指定管理者制度を導入して 2 年目を迎え、引き続き図書館サービスの維持・向上のため、指定管理業者の指導に努めた。

ア. 図書館協議会

開催年月日	会 議 名	参加者
平成 26 年 3 月 19 日	第 1 回図書館協議会	委員 8 名

イ. 分類別蔵書冊数

○一般図書

分 類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業
烏山図書館	1,395	1,470	3,744	4,309	2,140	3,504	1,082
南那須図書館	1,537	2,319	4,502	7,049	4,065	5,268	2,468
分 類	7 芸術	8 言語	9 文学	F 小説	小 計		
烏山図書館	3,405	485	11,109	18,225	50,868		
南那須図書館	5,282	1,074	12,295	17,139	62,998		

○児童図書

分 類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業
烏山図書館	234	143	981	685	1,766	632	446
南那須図書館	464	328	1,705	1,631	3,274	1,249	700
分 類	7 芸術	8 言語	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	小 計	
烏山図書館	1,027	205	7,422	8,796	979	23,379	
南那須図書館	1,829	475	11,554	16,620	908	40,737	

○その他の図書資料

分 類	郷土	参考	YA	コミック	洋書	点字	読書会
烏山図書館	4,267	2,117	0	495	1	3	0
南那須図書館	6,812	3,038	4,924	4,906	619	197	100
分 類	雑誌	小 計					
烏山図書館	1,356	8,239					
南那須図書館	3,413	24,009					

○視聴覚資料

分 類	CD	VTR	DVD	CD-R	小計
烏山図書館	63	0	76	134	273
南那須図書館	1,966	746	1,108	211	4,031

○合計

烏山図書館	82,754	南那須図書館	131,775	合計	214,529
-------	--------	--------	---------	----	---------

ウ. 図書館利用状況

(単位:人)

項目	烏山図書館		南那須図書館		合計	
	累計	日/月平均	累計	日/月平均	累計	日/月平均
開館日数	300	—/25	298	—/24	—	—
入館者数	36,277	121/3,628	55,923	187/4,660	92,200	308/7,683
貸出冊数	53,375	178/4,448	146,691	492/12,224	200,066	669/16,672
貸出利用者数	12,089	40/1,007	29,723	99/2,476	41,812	139/3,484
インターネット利用者数	606	2/51	1,061	3/88	1,667	5/138
視聴覚利用件数	—	—	826	3/68	—	—
視聴覚利用者数	—	—	1,105	3/92	—	—

エ. 利用者カード登録状況

(単位:人、団体)

烏山図書館	市内		那珂川町・高根沢町・さくら市		その他		小計	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
	2,555	94	102	0	115	4	2,772	98
南那須図書館	市内		那珂川町・高根沢町・さくら市		その他		小計	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
	6,206	1,313	434	13	267	53	6,907	1,379
合計	市内		那珂川町・高根沢町・さくら市		その他		合計	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
	8,761	1,407	536	13	382	57	9,679	1,477

オ. 施設貸出状況(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

○南那須図書館

施設名	団体活動室	多目的ホール	展示ホール
利用団体数	43	58	9
利用者数	389	1,165	

○烏山図書館

施設名	団体活動室
利用団体数	24
利用者数	141

カ. 図書館事業

事業名	図書館名	内 容	参加状況
おはなし会	烏山図書館	毎月第1・4土曜日 17回	100人
	南那須図書館	毎月第1・3土曜日 30回	282人
おたのしみ会	烏山図書館	毎月第3土曜日 12回	121人
	南那須図書館	奇数月の第2土曜日 6回	223人
読書会	烏山図書館	毎月第4木曜日 10回	42人
人形劇	南那須図書館	6月22日、12月14日 2回	105人
小学校訪問のおはなし会	両館共通	5月～翌年2月 44回	5校 81クラス
パンプキン祭	両館共通	8月31日 ジャボカぼちやの苗を購入してもらい育てた物の重さで順位をつける。	458人
図書館まつり	両館共通	10月20日 ▷雑誌のリサイクル ▷ボランティアグループによる「おはなし会」 ▷ワークショップ（しおり作りほか）	1,024人
全国訪問おはなし隊	南那須図書館	6月29日 講談社のキャラバンカーが来館し、絵本の読み聞かせなどをした。（南那須図書館開館10周年記念イベント）	112人

キ. 施設整備

	工 事 名	事業費（円）	請負業者名
1	烏山図書館エアコン修繕工事	367,500	㈱大高商事
2	南那須図書館空調用加湿器修繕工事	166,650	㈱大高商事

ク. 備品購入

	品 名	事業費（円）	購入先	備 品 概 要
1	南那須図書館事務用ノートパソコン	94,140	富士通ウェブサイト	1台
2	南那須図書館消火器	60,480	㈱大高商事	12本

ケ. 備品更新(リース契約)

	品 名	契約期間	購入先	備 品 概 要
1	南那須図書館カー複合機	H25.6～H29.3	KOBUSHI	1台
1	南那須図書館印刷機	H25.6～H29.3	KOBUSHI	1台
2	図書館管理システム	H26.3～H31.3	㈱両毛システムズ	1式

<点検及び評価>

- 図書館サービスの維持・向上のため、指定管理業者の指導に努めた結果、両図書館の蔵書数は順調に増え、県内公共図書館との連携もあって利用状況は順調に推移した。
- 図書館事業では、平成25年度を初年度とする「子ども読書活動推進計画第2期計画」に基づき、司書が選んだ図書を希望する学校に貸し出す「団体貸出」や「おはなし会」「おたのしみ会」「小学校訪問おはなし会」を実施するなど、各種読書推進事業を展開した。そのほか、「パズル祭り」や「図書館まつり」などの新事業を開催し、親しまれる図書館づくりに努めた。
- 一般市民を対象とした読書会や図書館ボランティアの受入、読書サークル・ボランティアの育成・支援を進めた。

<平成26年度活動状況>

- 図書館の適正な管理・運営、事業実施と共に、蔵書等の図書館資料や情報の提供、図書館事業など直接サービスのほか、資料・情報収集の充実、市民の調査・研究活動の支援等に努めるよう指定管理業者の指導に努めている。

(7) スポーツ振興

<平成25年度実績>

- 近年の健康志向の高まりを背景に、市民の体力づくりやレクリエーション活動への関心が高まる中で、市及び市体育協会・各種団体を中心に、各種大会、スポーツ教室等を開催した。
- 体育施設や運動場及び学校開放施設の効率的な維持・管理に努めた。
- 今年度は新規事業として、日本サッカー協会主催のJFA ころのプロジェクト「夢の教室」を開催し、夢を持つことや仲間と協力することの大切さを子ども達に伝えた。

ア. スポーツ推進委員会議等の開催状況

開催年月日	出席者数	内 容
平成25年4月24日	17人	a 平成25年度市民ハイキングについて b 関東スポーツ推進委員研究大会について c 親睦会の決算についてについて d 歓送迎会の開催について
平成25年5月22日	16人	a 平成25年度市民ハイキングについて
平成25年7月19日	17人	a 市民ハイキングの検証と今後の課題について b 関東スポーツ推進委員研究大会の報告について
平成25年9月24日	13人	a 市民運動会について b 全国スポーツ推進委員研究大会について
平成26年1月24日	7人	a 平成26年度市民ハイキングについて
平成26年3月26日	15人	a 平成26年度市民ハイキングについて b 平成25年度各部会の活動反省について c 平成26年度各部会の活動計画について

イ. JFAころのプロジェクト「夢の教室」

開催年月日	学校名	夢先生
平成25年6月12日	・鳥山小学校5年2組	米山篤志、安永聡太郎
平成25年6月13日	・鳥山小学校5年1組 ・鳥山小学校5年3組	米山篤志、安永聡太郎
平成25年10月23日	・荒川小学校5年1組 ・荒川小学校5年2組	落合真理、島田裕介
平成25年12月2日	・江川小学校5年	市原誉昭、井手口純
平成26年2月4日	・境小学校5年	小林慶行、法師人美佳
平成26年3月26日	・七合小学校5年	佐藤悠介、法師人美佳

ウ. スポーツ事業

月 日	行 事 名	場 所	参加者数
4月1日	競技者普及事業	向田体育館	110
2日	スポーツ教室（～5/7、10回）空手道	荒川小体育館他	100
3日	スポーツ教室（～6/5、10回）バドミントン	荒川小体育館	50
7日	第8回市民野球大会	大桶運動公園他	100
13日	スポーツ教室（～6/22）テニス	緑地運動公園	100
17日	第5回南那須支部ソフトボール協会リーグ戦	緑地運動公園	150
17日	第24回一般男女ソフトボール大会	烏山運動公園	100
27日	スポーツ教室（7/27、9回）陸上	大桶運動公園	90
28日	実業団剣道大会	栃木県武道館	80
29日	第8回那須烏山市弓道大会	烏山弓道場	80
29日	第32回栃木県空手道少年錬成大会	県南体育館	100
5月3日	スポーツ教室（7/5、10回）柔道	那須烏山市警察署内柔道場	80
7日	第32回壮年ソフトボール大会南那須支部予選	緑地運動公園	60
8日	烏山支部自治会親善ソフトボール大会	烏山運動公園	90
13日	スポーツ教室（～6/13、10回）卓球	向田体育館	80
13日	春季男女混合市民バレーボール大会（～5/17）	荒川中学校	100
13日	スポーツ教室（～6/14、10回）剣道	烏山武道館	90
18日	野球教室	烏山運動公園	100
19日	栃木県剣道祭	栃木県武道館	150
21日	那須烏山市ゲートボール協会春季大会	緑地運動公園	100
27日	第2回那須烏山警察署長杯GG大会	緑地運動公園	110
6月2日	第15回境地区ゴルフ大会	烏山城CC	80
3日	春季婦人バレーボール大会（～6/7）	荒川中学校	90
3日	ファミリー記念ソフトボール	緑地運動公園	60
5日	第35回壮年ソフトボール大会	烏山運動公園	100
15日	第8回市長杯剣道大会	荒川小学校	80
16日	グランドゴルフ大会	愛宕台運動場	70
16日	バレーボール大会	七合体育館	80
19日	スポーツ教室（～7/19、10回）水泳	B&G海洋センター	60
22日	山あげカップ（バスケットボール）	烏山中学校他	100

月 日	行 事 名	場 所	参加者数
6月26日	第3回那須烏山市実年ソフトボール大会	烏山運動公園	90
30日	ジュニアオープン大会（空手）	宇都宮市	100
30日	関東少年少女空手道選手権大会	山梨県	110
7月3日	第34回自治会親善ソフトボール大会	烏山運動公園	80
7日	第2回那須烏山市市長杯GG大会	緑地運動公園	110
7日	第8回南那須柔道大会	烏山武道館	50
8日	市民フットサル大会	烏山体育館	50
8日	第7回文月ソフトボール大会	緑地運動公園	100
13日	成壮年ナイターソフトボール大会	烏山運動公園	100
14日	向田支部ソフトボール大会	烏山運動公園	80
16日	那須烏山市ソフトボール協会夏季大会	緑地運動公園	60
16日	第10回那須烏山支部交通安全GG大会	烏山野球場	50
21日	栃木県女子剣道大会	栃木県武道館	100
23日	第8回春季市民ソフトテニス大会	緑地運動公園	110
28日	県民スポーツ大会選手選考会	南那須弓道場	50
31日	第4回那須烏山市壮年ソフトボール交流大会	緑地運動公園	60
8月3日	第8回市民ナイター野球大会	緑地運動公園	80
7日	ジュニアゴルフ教室	烏山城CC	70
10日	第13回全日本少年少女空手道選手権大会	東京武道館	200
10日	第34回南那須地区少年剣道大会	荒川中学校	80
11日	第5回自治会対抗親善野球大会	緑地運動公園他	120
11日	第8回市民射撃大会	宇都宮射撃場	100
16日	第21回全国中学生空手道選手権大会	長野県	180
17日	日光剣道大会（～8/19）	日光市東昭宮	90
21日	第30回秋季実年ソフトボール大会	烏山運動公園	110
24日	剣道形講習会	荒川中学校	50
25日	野球大会（七合支部）	烏山野球場	80
25日	バレーボール大会（七合支部）	七合体育館	80
27日	新設記念ゲートボール大会	南那須運動場	60
9月2日	第9回市民ソフトボール大会	緑地運動公園	90
4日	第34回市民ナイターソフトボール大会	烏山運動公園	100

月 日	行 事 名	場 所	参加者数
9月7日	市民水泳大会	B&G海洋センター	80
8日	剣道昇段審査会	荒川中学校	50
11日	婦人バレーボール大会	烏山体育館	100
23日	第5回栃木県空手道少年秋季大会	大田原市	150
24日	鈴木壬杯ゲートボール大会	南那須運動場	100
29日	第59回那須南弓道連盟射会	南那須弓道場	100
10月1日	第19回会長杯混合ソフトボール大会	緑地運動公園	150
2日	第36回市民ソフトボール選手権大会	烏山運動公園	150
13日	第9回那須烏山市民運動会	大桶運動公園・緑地運動公園	2,500
20日	県民スポーツ大会（陸上）	栃木県総合運動公園	180
20日	県民スポーツ大会（バスケットボール）	栃木県総合運動公園他	120
20日	県民スポーツ大会（ソフトテニス）	宇都宮市	150
20日	県民スポーツ大会（柔道）	栃木県武道館	120
20日	県民スポーツ大会（剣道）	栃木県武道館	150
20日	県民スポーツ大会（ソフトボール）	宇都宮市柳田緑地	120
20日	県民スポーツ大会（ゲートボール）	宇都宮市陽南運動公園	100
20日	チャリティーダンスパーティー&発表会	烏山体育館	110
21日	秋季婦人バレーボール大会（～10/25）	荒川中学校	100
23日	第8回那須烏山市民親善交通安全GG大会	大桶運動公園	90
27日	県民スポーツ大会（卓球）	宇都宮市	150
27日	県民スポーツ大会（弓道）	宇都宮市弓道場	60
27日	県民スポーツ大会（射撃）	ニッコー栃木総合射撃場	50
27日	県民スポーツ大会（テニス）	栃木県総合運動公園	150
27日	ソフトボール大会（七合支部）	烏山運動公園	100
27日	ゲートボール大会（向田支部）	落合ゲートボール場	80
11月3日	第58回塩那親善弓道大会	那須塩原市	100
5日	男女混合市民バレーボール大会（～11/11）	烏山体育館他	100
5日	那須烏山ゲートボール協会秋季大会	南那須運動場	90
9日	第8回市民剣道祭	七合小学校	100
10日	スポーツ少年団剣道交流大会	栃木県武道館	100
10日	第32回関東甲信越国際剛柔公道会大会	宇都宮市	200

月 日	行 事 名	場 所	参加者数
11月15日	グランドゴルフ大会（境支部）	烏山野球場	100
17日	栃木県弓道連盟支部対抗大会	宇都宮市弓道場	100
17日	五地区剣道大会	県北体育館	80
17日	第9回さくら市オープンパドミントン大会	さくら市氏家体育館	110
23日	第1回ソフトボールフェスティバル	緑地運動公園	70
23日	第24回矢板市大会	矢板市体育館	100
12月1日	第9回那須烏山マラソン大会	保健福祉センター発着	1,800
22日	納射会	烏山弓道場	80
1月12日	初射会	南那須弓道場	150
18日	スキー教室	台鞍山スキー場	50
19日	全国道場選抜空手道大会	埼玉県和光市	120
19日	第8回那須烏山市駅伝競走大会	烏山運動公園スタート	200
25日	郡市町駅伝競走大会	県庁～栃木市陸上競技場	150
2月16日	スキー教室	台鞍山スキー場	50
23日	なすみなみ若鮎駅伝競走大会	大桶運動公園発着	300
25日	那須烏山市ゲートボール協会冬季大会	南那須運動場	80
3月1日	練習会（テニス）	緑地運動公園	100
4日	市民卓球大会	向田体育館	100
9日	市民スキー祭り	台鞍山スキー場	100
23日	第60回那須南弓道連盟射会	南那須弓道場	80
28日	第8回はまなす杯全国中学生空手道大会	北海道	130

エ. スポーツ教室開設

（延べ人員／単位：人）

教室名	受講対象	場 所	開設日・時 間	参加者数	指導者
陸 上	小学4年生 ～一般	大桶運動公園 多目的競技場	4月27日～7月27日 毎週土曜日 9:00～11:00	220	60
野 球	小学1年生 ～6年生	烏山運動公園	5月18日～7月20日 毎週土曜日 18:00～20:00	113	30
卓 球	小学4年生 ～一般	向田体育館	5月13日～6月13日 毎週月・木曜日 19:00～21:00	80	50
剣 道	小学1年生 ～一般	烏山武道館	5月13日～6月14日 毎週月・金曜日 18:30～20:00	190	30
柔 道	小学1年生 ～一般	那須烏山警察 署	5月3日～7月5日 毎週金曜日 18:30～20:30	170	20

教室名	受講対象	場 所	開設日・時 間	参加者数	指導者
弓 道	小学5年生 ～一般	南那須・烏山弓 道場	5月8日～5月29日 毎週月・水・金曜日 20:00～21:30	60	34
サッカー	小学生	烏山運動公園	5月7日～7月23日 毎週火曜日 18:30～20:30	166	26
女子ソフト ボール	小学3年生 ～一般	烏山運動公園	4月13日～7月20日 毎週土曜日 18:30～20:30	51	20
ミニバスケット ボール	小学生	烏山小体育館	6月4日～8月6日 毎週火曜日 18:30～20:30	278	29
テニス	中学生以上	烏山運動公園 テニスコート	4月13日～7月13日 毎週土曜日 15:00～17:00	104	36
バドミントン	小学4年生 ～一般	荒川小体育館	4月3日～6月5日 毎週水曜日 19:30～21:30	98	20
空手道	小・中学生	荒川小体育館 下江川中体育館	4月2日～5月7日 毎週火・金曜日 19:00～21:00	110	20
水 泳	小学3年生 ～一般	B&G海洋センター	①6月19日～7月19日 18:30～20:00 ②7月26日～9月6日 18:30～20:00	363	81
スキー・スノーボ ード教室	小学1年生 ～一般	台鞍山スキー場 (福島県)ほか	2月16日、3月9日	28	15
水中 運動教室	50歳以上	B&G海洋センター	①6月 4日～6月28日 14:30～15:30 ②9月 3日～9月27日 10:00～11:00	248	16
合 計				2,279	487

オ. 施設整備

番号	工 事 名	事業費	請負業者名	工 事 概 要
1	大桶運動公園入口案内看板 移設工事	945,000	渡邊建設(株)	国道294号拡張工事に伴う大 桶運動公園入口看板の移設
2	烏山運動公園高圧コンデンサー 修繕工事	299,250	篠崎電気技術管 理	烏山運動公園公園高圧コンデン サーの修繕
3	緑地運動公園防犯カメラ設置 工事	381,465	北関東総合警備 保障(株)	緑地運動公園入口への防犯カ メラ設置
4	烏山運動公園屋外キュービクル 改修工事	519,000	榊那須電気	烏山運動公園屋外キュービクルの 改修

イ 施設使用状況

	平成25年度 社会体育施設使用状況調べ												下段…利用者数			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計	
烏山野球場	16	19	21	19	20	16	111	21	22	14	13	22	31	123	234	
	1,380	948	1,680	1,620	1,061	975	7,664	1,617	1,220	780	716	515	642	5,490	13,154	
烏山運動公園	53	64	68	66	54	65	370	61	48	37	38	29	41	254	624	
多目的	1,295	1,510	1,558	1,594	1,211	1,534	8,702	2,063	1,120	1,038	1,110	842	862	7,035	15,737	
テニス	101	104	85	104	101	100	595	90	91	82	85	103	75	526	1,121	
	755	680	610	765	700	720	4,230	705	1,031	1,136	1,181	1,516	794	6,363	10,593	
愛宕台運動場	5	5	10	11	16	13	60	6	7	3	11	28	6	61	121	
	250	170	475	325	410	250	1,880	495	325	190	365	895	380	2,650	4,530	
屋内体育館	152	165	164	169	148	154	992	156	145	131	119	133	142	826	1,778	
烏山・野上・向田・観野・七合	3,738	3,985	4,192	4,416	3,929	4,935	25,195	5,359	6,964	4,273	2,862	2,934	2,655	25,047	50,242	
烏山武道館	44	42	46	48	42	43	265	43	43	38	35	37	43	239	504	
	965	874	922	1,006	823	863	5,453	924	880	744	733	777	889	4,947	10,400	
烏山弓道場	12	12	12	13	11	11	71	12	12	11	11	10	12	68	139	
	49	67	47	49	40	54	306	53	58	51	38	24	51	275	581	
大桶運動公園	59	65	71	72	59	60	386	67	81	40	42	74	50	354	740	
	1,606	1,537	3,351	2,350	1,375	1,748	11,967	3,430	4,620	885	950	2,055	1,027	12,967	24,934	
多目的	5	7	12	11	4	9	48	10	15	3	3	40	3	74	122	
サッカー他	750	410	1,860	575	450	508	4,553	2,515	1,770	255	220	1,455	140	6,355	10,908	
野球場	10	14	8	6	6	7	51	7	6	1	1	2	12	29	80	
	146	357	446	180	120	320	1,569	180	90	20	20	20	360	690	2,259	
管理棟	5	5	10	9	11	7	47	7	14	2	3	5	0	31	78	
	50	150	410	365	50	370	1,395	125	1,090	40	110	160	0	1,525	2,920	
修景広場 他	17	18	17	19	17	16	104	22	23	16	15	15	22	113	217	
パークゴルフ他	340	360	300	690	340	320	2,350	400	1,040	320	300	300	397	2,757	5,107	
観覧広場 他	22	21	24	27	21	21	136	21	23	18	20	12	13	107	243	
グラウンドゴルフ他	320	260	335	540	415	230	2,100	210	630	250	300	120	130	1,640	3,740	
小計	442	476	477	502	451	462	2,810	456	449	356	354	436	400	2,451	5,261	
	10,038	9,771	12,835	12,125	9,549	11,079	65,397	14,646	16,218	9,097	7,955	9,558	7,300	64,774	130,171	

	平成25年度 社会体育施設使用状況調べ												下段…利用者数			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計	
緑地運動公園	11	10	7	11	26	10	75	7	7	6	10	4	15	49	124	
野球場	240	400	560	470	861	430	2,961	220	258	120	200	120	270	1,188	4,149	
多目的競技場	69	63	61	55	76	62	386	59	64	57	53	50	51	334	720	
	1,520	2,765	2,158	1,860	2,735	2,806	13,844	4,856	2,137	1,108	1,054	1,230	1,288	11,673	25,517	
テニス	32	42	43	46	45	40	248	50	38	32	25	21	41	207	455	
	724	1,114	1,107	1,011	815	754	5,525	722	544	514	527	772	526	3,605	9,130	
ゲートボール場	61	59	58	62	64		304							0	304	
	714	766	768	822	750		3,820							0	3,820	
スポーツ健康館	28	28	33	24	20	25	158	30	30	25	25	24	25	159	317	
	341	308	455	318	296	318	2,036	314	345	322	292	266	333	1,872	3,908	
南那須武道館							0							0	0	
							0							0	0	
南那須運動場							80	49	50	43	48	45	45	280	360	
							890	580	680	430	480	540	540	3,250	4,140	
いきいき交流館	0	1	0	2	0	17	20	20	1	8	8	8	3	48	68	
	0	15	0	20	0	30	65	0	10	80	80	80	33	283	348	
南那須弓道場	27	30	29	31	31	29	177	27	24	20	21	20	0	112	289	
	69	146	119	102	98	106	640	75	55	43	55	34	0	262	902	
屋内体育館	35	33	37	37	29	29	200	33	30	25	26	27	33	174	374	
荒川体育館	804	774	850	889	635	657	4,609	802	734	622	645	644	706	4,153	8,762	
B&G海洋センター 人数		21	30	31	31	29	142							0	142	
		372	3,111	4,473	3,299	1,446	12,701							0	12,701	
小計	263	287	298	299	322	321	1,790	275	244	216	216	199	213	1,363	3,153	
	4,412	6,660	9,128	9,965	9,489	7,437	47,091	7,569	4,763	3,239	3,333	3,686	3,696	26,286	73,377	
合計	705	763	775	801	773	783	4,600	731	693	572	570	635	613	3,814	8,414	
	14,450	16,431	21,963	22,090	19,038	18,516	112,488	22,215	20,981	12,336	11,288	13,244	10,996	91,060	203,548	

平成25年度 学校開放施設使用状況調べ

	上段…団体数												下段…利用者数		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計
境小	13	11	15	13	13	9	74	14	14	3	3	4	10	48	122
鳥山小	168	177	249	170	192	141	1,097	220	136	90	90	120	44	700	1,797
七合小	17	16	16	17	15	15	96	16	16	15	15	21	20	103	199
鳥山中	330	480	480	510	450	450	2,700	450	450	380	380	434	396	2,490	5,190
荒川小	17	17	16	17	16	14	97	16	17	14	12	16	13	88	185
江川小	245	340	280	300	280	240	1,685	260	305	245	215	250	120	1,395	3,080
荒川中	5	6	8	5	7	6	37	12	7	4	2	8	7	40	77
下江川中	68	81	103	46	87	80	465	110	60	90	60	90	45	455	920
境小	21	21	20	22	19	18	121	22	20	18	18	19	20	117	238
江川小	620	610	625	665	645	560	3,725	650	580	510	520	590	190	3,040	6,765
荒川中	18	18	16	18	14	16	100	19	17	8	8	8	17	77	177
下江川中	231	304	264	297	231	264	1,591	317	277	160	160	160	204	1,278	2,869
境小	24	27	24	26	23	25	149	24	18	13	12	13	23	103	252
荒川中	438	805	602	435	398	611	3,289	570	637	241	232	244	261	2,185	5,474
下江川中	10	23	21	28	22	21	125	24	14	10	4	3	13	68	193
境小	182	366	351	423	392	351	2,065	425	247	216	120	90	160	1,258	3,323
下江川中	125	139	136	146	129	124	799	147	123	85	74	92	123	644	1,443
合計	2,282	3,163	2,954	2,846	2,675	2,697	16,617	3,002	2,692	1,932	1,777	1,978	1,420	12,801	29,418

<点検及び評価>

- 平成 18 年度に市体育協会が結成され、体育協会及び各種団体が中心となり、各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催した。また、学校体育施設を活用した身近にスポーツを楽しめる機会を提供できたことにより、市民のスポーツに対する意識は向上している。
- 近年の急速な社会情勢の変化の中で、小学生から高齢者に至るまで市民のニーズに応えられる各種プログラムやスポーツに関する情報の提供、更にはスポーツ活動機会の提供に積極的に取り組んだ。
- 新規事業の「夢の教室」は市内全小学校の 5 年生を対象に 8 教室開催し、すべての小学校からとても良かったとの評価をいただいた。
- 各運動施設において施設の修理・修繕等を実施し、市民が安全で安心して利用、参加できる各施設の維持・管理がなされた。
- 平成 24 年 5 月にリニューアルオープンした B&G 海洋センターでは、プールの温水化に伴い、開館時間の延長や新たに高齢者を対象とした水中運動教室を開設するなど、利用者のニーズに応える施設運営を行った。
- 平成 23 年度から導入した公共施設予約システムも市民に浸透し、利便性、快適性が向上した。

<平成 26 年度活動状況>

- ますます多様化・高度化するスポーツニーズを的確に把握し、効率的なスポーツ活動の推進調整を図り、スポーツ大会・スポーツ教室、及び子どもから高齢者まで参加できるスポーツ活動機会の提供に努める。
- 本市におけるスポーツ全般の基本計画を協議し、事業運営に積極的に参画するため、定期的にスポーツ推進委員会を開催し、必要に応じ各種部会も開催する。
- 昨年度には、体育施設整備検討委員会が組織されたので、市民の利用状況、利便性及び地域内のバランスを考慮した整備について検討を行うとともに、施設整備の優先順位を見極め、的確な整備・改修が行えるように検討を行う。

◎ 文化 振 興

(8) 芸術・文化

① 文化事業

<平成 25 年度実績>

- 文化財保護審議会を3回開催して、新規の文化財指定に向けた調査や、指定物件の見直し・再調査の実施、視察研修地の選定等について審議を行った。
- 文化財保護事業では、烏山の山あげ行事をはじめ、民俗文化財保護団体に助成を行い、その保存・継承を図った。また、史跡公園、指定文化財の管理を委託し保護に努めた。
- 埋蔵文化財においては、昨年度に引き続き、遺跡の保護、保存を目的とした長者ヶ平官衙遺跡の史跡指定地に隣接する未調査地区の確認調査を実施した。また、平成21年度から実施してきた烏山城跡の調査概要についてまとめた概要報告書を作成した。

ア 文化財保護審議会

開催年月日	出席者数	内 容
平成 25 年 6 月 7 日	8 人	第 1 回審議会 (1) 今年度の審議会の事業計画について (2) 今年度の文化担当の事業計画について
平成 25 年 8 月 29 日	9 人	第 2 回審議会 (1) 文化財調査の経過について (2) 視察研修について
平成 25 年 11 月 20 日	4 人	視察研修 群馬県高崎市保渡田古墳群、上野国分寺跡
平成 26 年 2 月 21 日	10 人	第 3 回審議会 (1) 指定文化財候補について

イ 文化財の指定状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分		件 数	合 計	
国 指 定	史 跡	1	4	
	重 要 無 形 民 俗 文 化 財	1		
	選 択 無 形 文 化 財	2		
県 指 定	有 形 文 化 財	建 造 物	1	16
		絵 画	3	
		彫 刻	6	
		工 芸 品	5	
		天 然 記 念 物	1	
市 指 定	有 形 文 化 財	建 造 物	12	103
		絵 画	17	
		彫 刻	32	
		工 芸 品	9	
		考 古 資 料	11	
		歴 史 資 料	22	
	無 形 民 俗 文 化 財	5	50	
	有 形 民 俗 文 化 財	6		
	史 跡	20		
	天 然 記 念 物	19		
合 計			173	

ウ 埋蔵文化財調査事業

調 査 箇 所	調 査 期 間	内 容
烏山城跡確認調査事業 (国庫補助事業)	平成 25 年 6 月 1 日 ～ 平成 26 年 2 月 28 日	平成 21 年度から確認調査を実施した烏山城跡の概要報告書作成
長者ヶ平官衙遺跡附東 山道跡確認調査事業 (国庫補助事業)	平成 25 年 10 月 1 日 ～ 平成 26 年 2 月 28 日	史跡指定地に隣接する未調査地点の内容確認
市内遺跡出土品再整理 事業(国庫補助事業)	平成 25 年 6 月 1 日 ～ 平成 26 年 2 月 28 日	過去に調査をし、報告書を刊行した出土品や写真資料の再整理。写真資料はデジタルデータでの保存、管理を進めた。

エ 文化財保存修理事業

文化財名	修 理 内 容	修理場所等
国重要無形民俗文化財 烏山山あげ行事	山あげ小屋台の新調、道具類 (前山、中山等)の修繕	那須烏山市中央 元田町自治会
県指定 銅像阿弥陀三尊像	東日本大震災により被災した 銅像阿弥陀三尊像のうちの阿弥 陀如来像の左手の修理(木造から 本来の銅像へ)	那須烏山市月次 西方寺
県指定 宮原八幡宮本殿	降雪等により被害を受けた本殿 屋根の一部の修繕	那須烏山市宮原

オ 工事

番号	工事名	事業費	請負業者名	工事概要
1	出土品収蔵 庫解体工事	735,000	荒井工業(株)	工期:平成 26 年 3 月 5 日～平成 26 年 3 月 25 日 内容:発掘調査等により出土した土器、石 器等を収納する収蔵庫を解体。更地にして 駐車場スペースに

<点検及び評価>

- 文化財保護審議会において、有形文化財 1 件、民俗文化財 2 件、古文書 1 件、天然記念物 2 件の計 6 件について、新たな市指定文化財としての調書や写真撮影等を実施し、平成 26 年度に追加指定できるよう検討をしている。また、指定文化財の説明看板を年間数基設置しているが、その設置数が少ないことから看板設置のあり方を含め、検討が必要とされる。
- 本市の芸術・文化関係において、国の重要無形民俗文化財指定の「烏山の山あげ行事」を始めとして、国・県・市指定の貴重な文化財等が数多くあることから、今後、各地に伝承する民俗芸能の普及や後継者育成等の見直し検討が必要とされる。
- 埋蔵文化財においては、長者ヶ平官衙遺跡の確認調査、烏山城跡の調査概要についてまとめた概要報告書を作成した。特に烏山城跡については、その範囲が広いことから今後も継続的な調査と周知活動を進めることが必要とされる。

<平成 26 年度活動状況>

- 本市の文化財保護事業について、「烏山の山あげ行事」をはじめ、民俗文化財の保存・継承、また、史跡公園、指定文化財の管理・保護に努める。
- 平成 21 年 2 月 12 日国史跡指定となった「長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡」については、市の貴重な国指定史跡であり、「長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡保存管理計画書」に基づき保存保

護に努めている。昨年度からは今後の活用方針について「長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡基本構想」を策定し、検討を進める。また、国史跡指定5周年を記念し、史跡の価値について市民に広く周知したい。

また、烏山城跡についても、これまで進めてきた烏山城跡の確認調査成果を含めたパンフレットを作成し、調査成果等の講演会を開催し、貴重な文化遺産を市民に広く周知したい。

- 埋蔵文化財においては、昨年度に引き続き、遺跡の保護、保存を目的とした長者ヶ平官衙遺跡の史跡指定地内の未調査地区の確認調査を進めたい。
- 市内に残るクラや貝化石等が産出する地形や地質を守りながら、観光や学習に活用する那須烏山市版シガーク構想について検討を始めるとともに、市内の自然についての講演会やバスツアー、発表会等を行い、広く市民に周知をする。

② 芸術

<平成 25 年度実績>

- 市民の文化活動の成果を発表する場として、本年も市文化祭を開催した。期間中は各種の文化事業を展開し、文化芸術の振興を図った。
- 国や県の文化振興事業を活用し、市内の小中学生を対象とする芸術体験事業（移動音楽教室・文化芸術体験教室）を開催し、プロの演奏家や芸術家の卓越した技術に触れる機会を設けた。
- 市内の文化芸術を振興する団体に助成を行い、円滑な活動ができるよう支援を行った。

ア 文化祭

開催年月日	内 容	場 所
平成 25 年 11 月 16 日 17 日	市内園児、小中学生、高校や文化団体による文芸、絵画、書道、写真、生け花、押し花、ちぎり絵、絵手紙等の作品展示、芸能大会、お茶会、園芸展（菊、小菊、盆栽、山野草）、囲碁の集い、体験教室（押し花、書道、まが玉づくり、デインプレート）	烏山公民館 烏山体育館 山あげ烏章館 ほか

イ 移動音楽鑑賞教室等

開催年月日	内 容	対象及び場所
平成 25 年 6 月 24 日	ビバ！ムジカと「よろこびの歌」を歌おう 声楽とヴァイオリン、ピアノによるコンサート	烏山中学校 全生徒

ウ 次代を担う子どもの文化芸術体験事業

開催年月日	内 容	対象及び場所
平成 25 年 9 月 25 日	「谷桃子バレエ団研究所」公演 「クラシックの基本的な動き、歴史」の解説「白鳥の湖」の公演	荒川中学校 全生徒
平成 25 年 10 月 11 日	「劇団えるむ」公演 「ハッカコおに」の公演	江川小学校 全児童

<点検及び評価>

- 市文化祭については、各種作品展や発表会等に多くの市民が参加され、日頃の活動や練習の成果を積極的に披露していた。また、家族連れで鑑賞に訪れる姿も多く見られ、市民参加型のイベントとして定着していると思われる。十分な施設や展示スペースを確保できない状況ではあるが、老若男女を問わず、活動発表や作品鑑賞の機会を提供する意味では、文化祭は貴重な場であることから、今後も継続が必要である。
- 小中学校を対象とする芸術体験事業は、本物の文化芸術に触れる機会の少ない当市の現状を鑑みると、この時期に優れた文化芸術を体験できることは、子供の情操教育にも有益であり、貴重な機会であると思われる。低予算でプロの芸術家を招聘できることは、学校、行政ともにメリットは大きいですが、開催時期や内容等に制約があるため、必ずしも希望通りに開催できるとは限らず、学校行事や授業の都合で開催できない学校もあることから、行政と学校が事業実施にあたり緊密に連携を取っていく必要がある。

<平成 26 年度活動状況>

- 市文化祭については、市文化協会・市内の学校関係（幼稚園・保育園・小学校・中学校・県立学校）からなる運営委員会を組織して準備を行い、10月25・26日を中心日として、11月中旬まで各種行事を展開する。
- 芸術体験事業は、開催希望のあった学校で各種公演を実施する。
荒川小学校（巡回演劇公演）・下江川中学校（移動音楽鑑賞教室）・七合小学校（文化芸術による子供の育成事業）

③ 資料館

<平成 25 年度実績>

- 烏山郷土資料館は、東日本大震災で受けた建物被害により大部分を立入禁止とし、一部でのみ展示を行った。また、展示・保管をしていた大部分の資料（寄託資料・民俗資料・衣裳類・古文書・絵図面等）は、建物倒壊による亡失や散逸を防ぐため、廃校となっている七合中学校へ移管し保管に努めた。
- 資料館機能の充実については、「まちづくりプラン11プラス2」において「那須烏山市歴史資料

館（仮称）基本構想」を策定し、所蔵資料の保護・保存・公開を前提とした資料館機能の基本方針について検討を行った。

ア 烏山郷土資料館

○ 収蔵資料数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

歴史資料	2,052 点	（寄贈 1,392 点	寄託 660 点）
考古資料	62 点	（寄贈 57 点	寄託 5 点）
民俗資料	1,447 点	（寄贈 1,397 点	寄託 50 点）

○郷土資料館の機能

- a 郷土資料（民俗資料、考古資料）の収集、整理、保存及び公開展示
- b 郷土資料の調査・研究
- c 児童・生徒の郷土学習指導・援助
- d 文化財愛護思想の普及

○入館者数

開館日数	入館者数	比較		1日あたり 入館者数
		前年度	増減	
159	331	321	10	2.08

※ 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により被災したため、同日より休館。
同年 6 月 21 日部分再開

イ 旧南那須歴史民俗資料館収蔵資料（資料は旧七合中学校校舎に保管）

○収蔵資料数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

歴史資料	150 点	（寄贈 80 点	寄託 70 点）
考古資料	60 点	（寄贈 60 点	寄託 0 点）
民俗資料	820 点	（寄贈 780 点	寄託 40 点）

○総入館者数（開館から閉館まで）

開館日数 4,993 日 入館者数 26,252 人 1日あたり入館者数 5.26 人
会館期間 昭和 57 年 10 月 28 日～平成 23 年 3 月 10 日

※ 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により本館が北側に傾斜し、復旧の見込みがた
たないため閉鎖。解体撤去の上、平成 25 年 2 月 28 日に借地を返還した。

<点検及び評価>

○市内に 2 箇所ある資料館は、東日本大震災により大きく被災したため、昨年度、南那須歴史民俗資料館は解体し、所有者に返還した。烏山郷土資料館は、2 階部分が大きく被災したため、一部のみで開館している状況であり、貴重な文化財等の展示・公開施設（資料館や展示施設等）の充実は今後の緊急な課題となっている。

なお、両資料館に保管していた特に貴重な資料（寄託資料・古文書・絵図資料等）は、旧七合中学校の空き教室を借用し、保管・保護を図っている。これらの状況に鑑み、資料の保

存・管理のための収蔵施設の在り方についても、早急な対応が必要となっている。

- 平成 25 年度に取りまとめた「那須烏山市歴史資料館（仮称）基本構想」においては、新たな資料館を烏山市街地に整備することで検討を行ったが、施設の整備場所については 3 箇所の候補地について、それぞれメリット・デメリットを抽出したが、候補地を一箇所に絞ることができなかった。これらの課題は、市の観光・まちづくり等の計画とも密接に関わることから、平成 26 年度にも引き続き検討することとした。

<平成 26 年度活動状況>

- 資料館については、既存施設との調整、施設の規模を検討しながら、候補地を一箇所に選定して、「(仮称)歴史資料館整備基本計画」を策定するため検討を進めている。
- 収蔵品の保護・保存は喫緊の課題のため、9 月補正予算に計上して、旧七合中学校の教室を改装し、空調・遮光等に配慮した保存収蔵庫を整備することとした。
- 烏山郷土資料館について、震災後の建物劣化や被害拡大の恐れがあるため、建物の診断を実施して、今後の運営について検討することとした。

第2章 教育委員会事務点検・評価会議のまとめ

この点検・評価報告書は、教育委員会会議、教育委員会の活動状況、主な事業の取組状況ごとに事務事業内容を把握し、自己評価を実施している。教育委員会の全体を見ても、その内容については教育委員会での様々な意見を取り入れて、適正に事務事業を実施していると認められる。

なお、本市の教育に関わる基本計画として策定された、「那須烏山市教育振興ビジョン」を基本として事務事業を推進していただきたい。

那須烏山市の教育の充実のために、本市独自の事業も数多く実施され、積極的な教育施策が展開されており、他市町に誇れる教育行政であると伺われる。しかし、新たな事業はもとより、継続事業についても、学校及び保護者、教育関係団体等との意見交換をしながら、随時、事業の点検・見直し等の検討を行い事業の改善に努めるとともに、市民から信頼される教育行政を推進していただきたい。

社会が急激に変化するなかで、本市教育行政においても将来を見据えた計画的施策を展開する必要があると思われる。特に、今後ますます少子化が進行していくと思われるので、教育の機会均衡を最優先として各種の政策に対応していただきたい。また、学校施設等安全・安心対策については、学校設備等の保守点検はもとより台風、竜巻等自然災害に対する補強等について配慮していただきたい。

生涯学習事業については、社会情勢の変化に伴い、社会教育、公民館活動共にその学級・講座等のメニューも多種多様化していることから、各々の講師や指導者の確保が困難であると予想される。今後、講師や指導者についても、より専門的な研修会を実施するなどして、参加者ニーズに対応できる講師や指導者の育成を図る必要があると思われる。

スポーツ振興については、毎年市民のニーズに対応した各種スポーツ大会やスポーツ教室が開催されるなど、子どもから高齢者まで多くの市民がスポーツに親しんでいることが伺われる。今後も、スポーツ指導員等の育成強化を図り、子どもから高齢者まで参加できるスポーツ活動の機会提供に積極的に取り組んでいただきたい。

芸術・文化事業においては、特に市には、民族文化財や史跡などが多数存在するため、それらの保護、保存、継承等について慎重に検討していただきたい。

以上、総括的に意見を述べたが、種々の事業について次の意見を付しまとめとする。

◆ 教育委員会

教育委員は、教育委員会議のほか、市の教育施策を熟知し、学校行事、教育関係各種大会・市行事等の参加により教育関係はもちろん、市政の実態把握や情報の収集を図るとともに、教育委員会事務局との連携も図りながら、本市の教育行政の活性化に努めていただきたい。

◆ 学ぶ機会の確保

平成 20 年度から実施の「英語コミュニケーション推進事業」をはじめ、「サテースクール事業」、「中学生海外派遣事業」等、那須烏山市独自の特色ある事業展開により、豊かな知性と人間味あふれる健やかな心身を兼ね備えた創造力豊かな人材育成が期待できるものと伺える。今後は、学校や関係者等との検討会等を通して、各事業の細部を再点検しながら、効率的・効果的な各種事業の展開を図っていただきたい。

◆ 教育環境の整備

本市独自に学級支援員・生活支援員を配置することにより、教員の負担軽減と学習意欲の向上が図られたと評価できる。また、「奨学金制度」については、平成 20 年度から全国でも稀である「奨学金の給付方式」が実施されたことから、賛否両論の意見はあるものの、この制度利用者においては教育を受ける機会が与えられ、将来本市及び社会に有益な人材育成のための一助となるものと判断され、今後もこれらの事業の推進に努めていただきたい。なお、市奨学金に充てている国債購入による利子の運用については、平成 29 年度に満期となるため早期に検討いただきたい。学校施設や学校設備の工事・修繕等については毎年実施され、学校環境整備が計画的に行われているところであるが、今後も計画的に推進していただきたい。

◆ 教職員の指導力の向上

全国学力・学習状況調査について、全国的にその公表・非公表が報道されたが、この調査目的は、結果分析を利用しての指導法の工夫改善をすることであり、本市の公表の方法、結果の分析、指導の手引き作成等は、この調査の趣旨に沿っており、各学校における指導法の工夫改善、及び指導力の向上に大きく貢献できたものと推察される。

また、学校訪問や教職員研修の実施状況から、教職員の指導力・資質の向上が期待できると思うが、今後もより効果的な研修会等を企画し、教職員の更なる指導力・資質の向上に努めていただきたい。

◆ 25 年度各学校の教育活動の評価

各学校において、校長を中心に特色ある教育を展開しているところであるが、学校評価を通して、その成果と課題や改善点を明確にし、学校運営、教育活動の改善と充実に努めていただきたい。

◆ 生涯学習活動

社会教育・公民館活動等、様々な講座や教室を開催しているところであるが、現在の多様化する市民の学習ニーズに対応するため、事業活動の企画や参加者の集客について相当な努力が伺われる。今後も各々の講座や教室の内容等を再検討しながら更なる努力をしていただきたい。また、地域づくりを推奨するため、世代間交流や地域間交流が図れる事業の展開を検討されたい。特に、公民館活動については、市公民館と地区館の位置付けを明確にし、均衡のとれた人的体制や活動の展開についても、早急に改善していただきたい。

◆ スポーツ振興

健康づくりや体力づくりを目的としたスポーツやレクリエーションの関心については、特に高齢者層の健康づくりの意欲が高まっている。今後、時代に即したスポーツ大会やスポーツ教室を開催するなど、市民の意見を聞きながら各関係者と連携を図り、市民のための健康づくりや体力づくりの機会の提供に努めていただきたい。また、現在、閉館している南那須武道館について、市全体の施設の在り方等を含めて早急に検討していただきたい。

◆ 文化振興

文化財保護事業については、市の貴重な財産である史跡・文化財等の管理・保護に努めていただくとともに、市民はもちろん広く県内・外にも紹介できるよう PR 活動にも努めていただきたい。

また、解体した南那須歴史民族資料館及び一部閉館している烏山郷土資料館については、貴重な地域の文化財を適切に保全及び管理していくことが喫緊の課題であることを十分に認識され、その在り方や整備について早急に対応していただきたい。

教育委員会事務点検・評価会議名簿

- | | | |
|---|----------------|-------|
| 1 | 専門委員（元公立学校長） | 網川陽一 |
| 2 | 専門委員（元公立学校長） | 増渕けい |
| 3 | 専門委員（元那須烏山市職員） | 駒場不二夫 |
| 4 | 事務局職員（教育長） | 池澤進 |
| 5 | 事務局職員（学校教育課長） | 網野榮 |
| 6 | 事務局職員（生涯学習課長） | 佐藤新一 |
| 7 | 事務局職員（文化振興課長） | 両方裕 |

◇那須烏山市教育委員会◇（那須烏山市役所南那須庁舎内）

〒321-0595 栃木県那須烏山市大金 240 FAX 0287-88-2027

○学校教育課 TEL 0287-88-6222

e-mail gakkohkyohiku@city.nasukarasuyama.lg.jp

○生涯学習課 TEL 0287-88-6223

e-mail shohgaigakushu@city.nasukarasuyama.lg.jp

○文化振興課 TEL 0287-88-6224

e-mail bunkashinkoh@city.nasukarasuyama.lg.jp

【 HP（那須烏山市） <http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/> 】

【 HP（なすから“あゆみネット”） <http://www.nasukarasuyama.ed.jp/kyoiku/> 】